

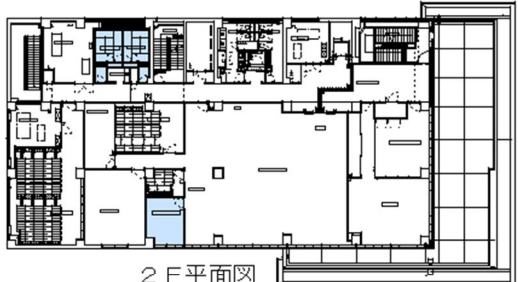
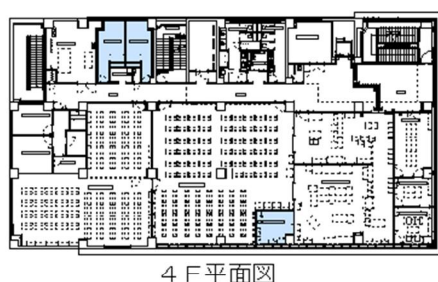




2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 A-36	内部壁 壁紙	部門 <input checked="" type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
<p>①管理上の注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クロス仕上げの下地は、せっこうボードです。 ・せっこうボード壁は、棚や重い額等を取り付ける場合は、止め金具のボルト等を軽鉄下地まで十分打ち込んでください。 ・しみ、剥がれ、ひび割れ、隙間、水漏れ、結露及びその痕跡に注意が必要です。 ・壁面内部に水漏れが発生するとカビの発生につながるので注意が必要です。 		
<p>②定期点検等周期</p> <p><input type="checkbox"/>法定点検等周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・点検：1回／3年（建基則第5条の2） ・確認：1回／1年（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） <p><input type="checkbox"/>共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2編第2章2.3.1「内壁・柱・はり」 <p>注. 周期Ⅰ又は周期Ⅱの適用は、第2編第1章1.1.2「点検の周期」（d）を参考に判断してください。</p>		
<p>③点検等の作業項目及び作業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通仕様書（令和5年版）の作業項目、作業内容を参照ください。 （第2編第2章2.3.1「内壁・柱・はり」） <p>※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適用しているか、点検業者等に確認して実施してください。</p>		
<p>④不具合と対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・剥がれ、浮き、汚れがある場合 → 専門業者に補修等を依頼してください。 仕上げ表を参照し、同じ材質、色、柄の材料で補修するよう依頼してください。 		
<p>⑤関連図書等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完成図 ・仕上げ表 		
<p>⑥清掃周期と清掃方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通仕様書（令和5年版）の清掃周期及び清掃方法を参照ください。 （第4編第2章2節「場所別の清掃」） 		



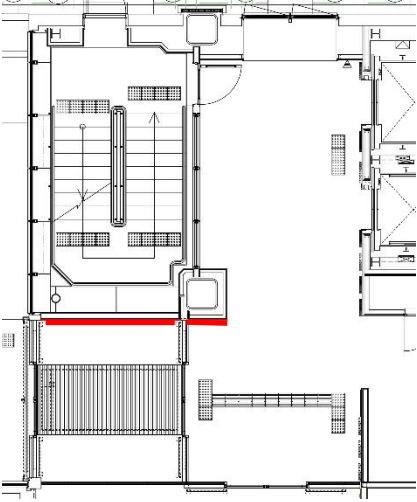
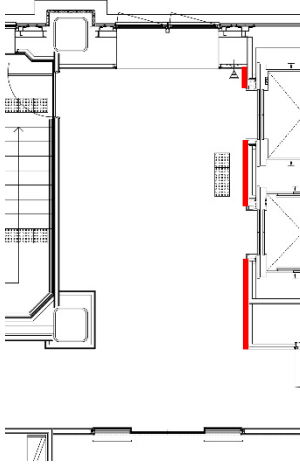
2) 保全の方法 (作成例 3-2)

保全対象項目 A-36	内部壁 壁紙	部門 <input checked="" type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
■ 保全対象 (写真)		
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>内部壁 事務室内壁</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>壁紙 (クロス)</p> </div> </div>		
■ 保全対象の場所 (図面等)		
<div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;"> <div style="width: 15px; height: 15px; background-color: #ADD8E6; margin-right: 5px;"></div> <p>壁部にクロス仕上げを行った部屋</p> </div>		
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>2 F 平面図</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>4 F 平面図</p> </div> </div>		
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>3 F 平面図</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>5 F 平面図</p> </div> </div>		

2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 A-37	内部壁 化粧フィルムシート張り	部門 <input checked="" type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
<p>①管理上の注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・化粧フィルムシート張りの下地は、ケイカル板です。 ・ケイカル板は、棚や重い額等を取り付ける場合は、止め金具のボルト等を軽量鉄骨下地まで十分打ち込んでください。また、粘着力の強いテープなどを直接シート部分に貼ると、シートの表面の剥がれやテープの跡が残る場合があります。 		
<p>②定期点検等周期</p> <p><input type="checkbox"/> 法定点検等周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・点検：1回／3年（建基則第5条の2） ・確認：1回／1年（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） <p><input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2編第2章2.3.1「内壁・柱・はり」 <p>注. 周期Ⅰ又は周期Ⅱの適用は、第2編第1章1.1.2「点検の周期」（d）を参考に判断してください。</p>		
<p>③点検等の作業項目及び作業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通仕様書（令和5年版）の作業項目、作業内容を参照ください。（第2編第2章2.3.1「内壁・柱・はり」） <p>※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適用しているか、点検業者等に確認して実施してください。</p>		
<p>④不具合と対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・剥がれ、浮き、傷がある場合 <ul style="list-style-type: none"> → 専門業者に補修等を依頼してください。 仕上げ表を参照し、同じ材質、色、柄の材料で補修するよう依頼してください。 		
<p>⑤関連図書等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完成図 ・仕上げ表 		
<p>⑥清掃周期と清掃方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通仕様書（令和5年版）の清掃周期及び清掃方法を参照ください。（第4編第2章2節「場所別の清掃」） 		

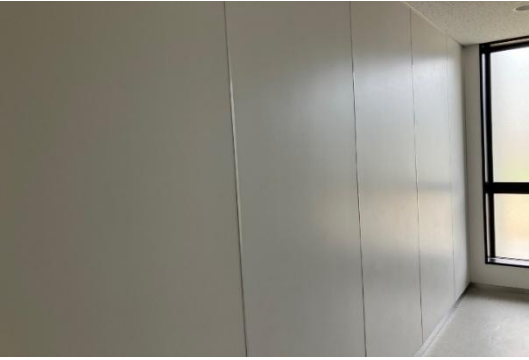

2) 保全の方法 (作成例 3-2)

<p>保全対象項目 A-37</p>	<p>内部壁 化粧フィルムシート張り</p>	<p>部門 <input checked="" type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械</p>
<p>■ 保全対象 (写真)</p>		
		
<p>玄関ホール</p>		<p>EVホール</p>
<p>■ 保全対象の場所 (図面等)</p>		
<p style="text-align: right;">— 化粧フィルムシート張り</p>		
		
<p>1階平面図 (玄関ホール)</p>	<p>2～7階平面図 (EVホール)</p>	

2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 A-38	内部壁 化粧けい酸カルシウム板目透かし張り	部門 <input checked="" type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
①管理上の注意事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 車椅子使用者用トイレ、男子トイレ、女子トイレの壁は汚れに強い化粧ケイカル板としています。 ・ 化粧けい酸カルシウム板は、衝撃には比較的強いですが、粘着力の強いテープを張ると表面が剥がれたりテープの跡が残る場合があります。 		
②定期点検等周期 <input type="checkbox"/> 法定点検等周期 <ul style="list-style-type: none"> ・ 点検：1回／3年（建基則第5条の2） ・ 確認：1回／1年（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） <input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期 <ul style="list-style-type: none"> ・ 第2編第2章2.3.1「内壁・柱・はり」 注. 周期Ⅰ又は周期Ⅱの適用は、第2編第1章1.1.2「点検の周期」（d）を参考に判断してください。 		
③点検等の作業項目及び作業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ 共通仕様書（令和5年版）の作業項目、作業内容を参照ください。 （第2編第2章2.3.1「内壁・柱・はり」） ※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適用しているか、点検業者等に確認して実施してください。		
④不具合と対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 傷、汚れがある場合 → 専門業者に補修等を依頼してください。 材料を交換する場合は、仕上げ表を参照し、同じ材質、色、柄の材料で補修するよう依頼してください。 		
⑤関連図書等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 完成図 ・ 仕上げ表 		
⑥清掃周期と清掃方法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 共通仕様書（令和5年版）の清掃周期及び清掃方法を参照ください。 （第4編第2章2節「場所別の清掃」） 		

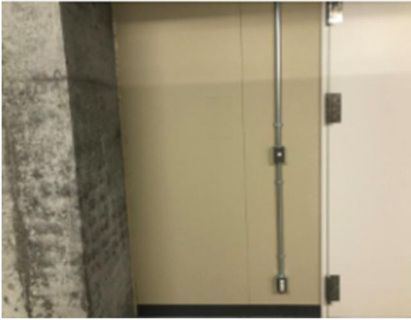

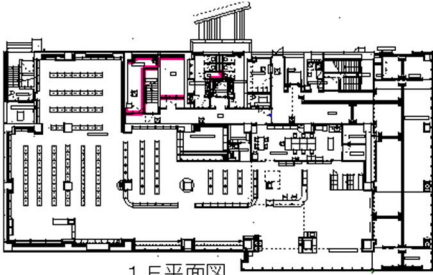

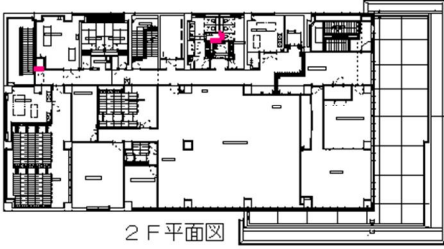


2) 保全の方法（作成例 3-2）

<p>保全対象項目 A-38</p>	<p>内部壁 化粧けい酸カルシウム板目透かし張り</p>	<p>部門 <input checked="" type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械</p>
<p>■保全対象（写真）</p> <div style="text-align: center;">  <p>トイレ壁</p> </div>		
<p>■保全対象の場所（図面等）</p> <div style="text-align: center;"> <p>■ 化粧ケイカル板目透かし張り</p>  <p>1階平面図</p> <p>2階平面図</p> <p>3階平面図</p> <p>4階平面図</p> <p>5階平面図</p> </div>		

2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 A-39	内部壁 せっこうボード素地	部門 <input checked="" type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
<p>①管理上の注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3F（税）事務室（a）（耐火書庫）・電気室・PS等の壁はせっこうボード素地仕上げとしています。 ・ 表面は紙のため、水に濡れると変色、カビ等の原因になる場合があります。 ・ 強い衝撃を与えると破損する場合があります。 		
<p>②定期点検等周期</p> <p><input type="checkbox"/>法定点検等周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 点検：1回／3年（建基則第5条の2） ・ 確認：1回／1年（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） <p><input type="checkbox"/>共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第2編第2章2.3.1「内壁・柱・はり」 <p>注．周期Ⅰ又は周期Ⅱの適用は、第2編第1章1.1.2「点検の周期」（d）を参考に判断してください。</p>		
<p>③点検等の作業項目及び作業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 共通仕様書（令和5年版）の作業項目、作業内容を参照ください。（第2編第2章2.3.1「内壁・柱・はり」） <p>※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適用しているか、点検業者等に確認して実施してください。</p>		
<p>④不具合と対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 傷、汚れがある場合 <ul style="list-style-type: none"> → 専門業者に補修等を依頼してください。 材料を交換する場合は、仕上げ表を参照し、同じ材質、色、柄の材料で補修するよう依頼してください。 		
<p>⑤関連図書等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 完成図 ・ 仕上げ表 		
<p>⑥清掃周期と清掃方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 共通仕様書（令和5年版）の清掃周期及び清掃方法を参照ください。（第4編第2章2節「場所別の清掃」） 		



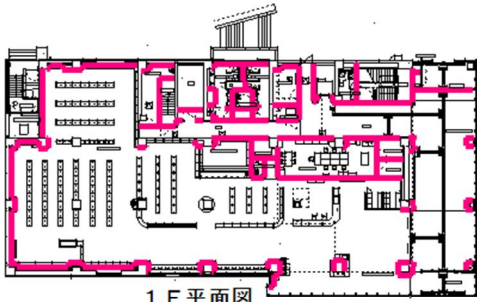
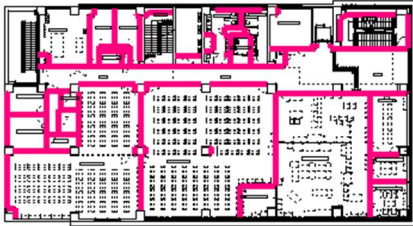
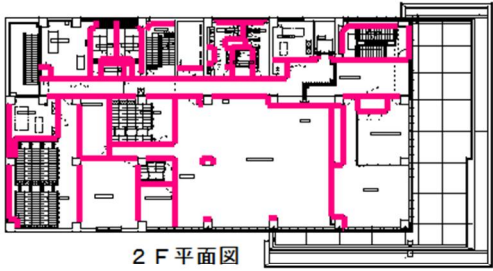
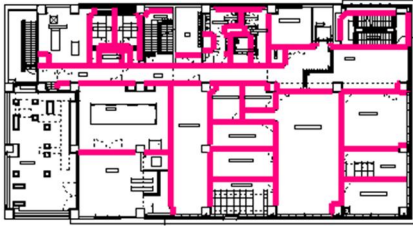
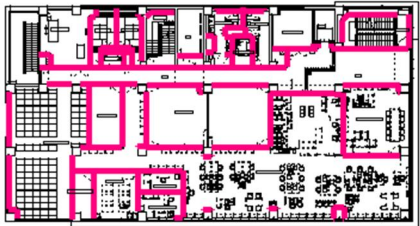
2) 保全の方法 (作成例 3-2)

<p>保全対象項目 A-39</p>	<p>内部壁 せっこうボード素地</p>	<p>部門 ■ 建築 □ 電気 □ 機械</p>
<p>■ 保全対象 (写真)</p>		
		
<p>電気室内壁</p>		<p>3階事務室(a) (耐火書庫)</p>
<p>■ 保全対象の場所 (図面等)</p>		
 <p>1 F 平面図</p>	 <p>4 F 平面図</p>	
 <p>2 F 平面図</p>	 <p>5 F 平面図</p>	
 <p>3 F 平面図</p>	<p>■ 石膏ボード素地</p>	

2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 A-40	内部壁 軽量鉄骨下地壁	部門 <input checked="" type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
<p>①管理上の注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 軽量鉄骨の下地を組んだ壁です。間仕切り位置を変更する場合は事前に計画通知等の申請手続き・検査を行った特定行政庁との協議が必要です。 ・ 強い衝撃を与えた場合、表面の仕上げボード類等はもちろん、下地から破損する場合があります。 		
<p>②定期点検等周期</p> <p><input type="checkbox"/> 法定点検等周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 点検：1回／3年（建基則第5条の2） ・ 確認：1回／1年（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） <p><input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第2編第2章2.3.1「内壁・柱・はり」 <p>注. 周期Ⅰ又は周期Ⅱの適用は、第2編第1章1.1.2「点検の周期」（d）を参考に判断してください。</p>		
<p>③点検等の作業項目及び作業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 共通仕様書（令和5年版）の作業項目、作業内容を参照ください。（第2編第2章2.3.1「内壁・柱・はり」） <p>※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適用しているか、点検業者等に確認して実施してください。</p>		
<p>④不具合と対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 損傷、へこみがある場合 → 専門業者に調査、補修を依頼してください。 		
<p>⑤関連図書等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 完成図 		
<p>⑥清掃周期と清掃方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 共通仕様書（令和5年版）の清掃周期及び清掃方法を参照ください。（第4編第2章第2節「場所別の清掃」） 		

2) 保全の方法（作成例 3-2）

<p>保全対象項目 A-40</p>	<p>内部壁 軽量鉄骨下地壁</p>	<p>部門 ■ 建築 □ 電気 □ 機械</p>
<p>■ 保全対象（写真）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="316 465 657 721">  <p data-bbox="384 734 584 766">軽量鉄骨下地壁</p> </div> <div data-bbox="855 465 1200 721">  <p data-bbox="863 734 1209 766">せっこうボード仕上げ（EP）</p> </div> </div>		
<p>■ 保全対象の場所（図面等）</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="268 927 746 1227">  <p data-bbox="411 1211 523 1234">1 F 平面図</p> </div> <div data-bbox="865 981 1279 1205">  <p data-bbox="1008 1211 1120 1234">4 F 平面図</p> </div> <div data-bbox="268 1281 762 1550">  <p data-bbox="402 1525 513 1547">2 F 平面図</p> </div> <div data-bbox="865 1294 1279 1518">  <p data-bbox="1008 1525 1120 1547">5 F 平面図</p> </div> <div data-bbox="268 1603 689 1827">  <p data-bbox="418 1839 529 1861">3 F 平面図</p> </div> <div data-bbox="884 1637 1110 1664" style="text-align: center;"> <p>— 軽量鉄骨下地壁</p> </div> </div>		

2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 A-41	内部壁 タイル張り	部門 <input checked="" type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
①管理上の注意事項 <ul style="list-style-type: none"> 1階風除室、倉庫1の壁はタイル貼仕上げとしています。頻繁に点検や保守を行う必要はありませんが、表面の浮きやひび割れが、剥落を生じさせるおそれがありますので、原因をよく調べて早めに適切な処置を施すことが必要です。 		
②定期点検等周期 <input type="checkbox"/> 法定点検等周期 <ul style="list-style-type: none"> 点検：1回／3年（建基則第5条の2） 確認：1回／1年（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） <input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期 <ul style="list-style-type: none"> 第2編第2章2.3.1「内壁・柱・はり」 注. 周期Ⅰ又は周期Ⅱの適用は、第2編第1章1.1.2「点検の周期」（d）を参考に判断してください。		
③点検等の作業項目及び作業内容 <ul style="list-style-type: none"> 共通仕様書（令和5年版）の作業項目、作業内容を参照ください。（第2編第2章2.3.1「内壁・柱・はり」） ※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適用しているか、点検業者等に確認して実施してください。		
④不具合と対応 <ul style="list-style-type: none"> 剥落がある場合 <ul style="list-style-type: none"> → 剥落しかかっている場合は、早急に専門業者に調査等を依頼してください。 浮き、ひび割れがある場合 <ul style="list-style-type: none"> → 専門業者に調査等を依頼してください。 シーリングの破断、劣化がある場合 <ul style="list-style-type: none"> → 劣化が進行しないうちに調査、補修を行ってください。 		
⑤関連図書等 <ul style="list-style-type: none"> 完成図 ・ 仕上げ表 		
⑥清掃周期と清掃方法 <ul style="list-style-type: none"> 共通仕様書（令和5年版）の清掃周期及び清掃方法を参照ください。（第4編第2章2節「場所別の清掃」） 		








2) 保全の方法 (作成例 3-2)

<p>保全対象項目 A-41</p>	<p>内部壁 タイル張り</p>	<p>部門 <input checked="" type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械</p>
<p>■ 保全対象 (写真)</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">100 角タイル</p>		
<p>■ 保全対象の場所 (図面等)</p> <div style="text-align: right; margin-bottom: 10px;">  タイル貼り部分 </div> <div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">1 階平面図</p>		

2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 A-42	内部天井 不燃積層せっこうボード (トラバーチン模様)	部門 <input checked="" type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
①管理上の注意事項 <ul style="list-style-type: none"> 職員使用エリアの天井には主に化粧せっこうボードが使われます。天井内には、電線や空調用ダクトなどが入っており、それらを点検するための点検口が必要箇所に設置されています。 素材は、せっこうボードと同じです。 		
②定期点検等周期 <input type="checkbox"/> 法定点検等周期 <ul style="list-style-type: none"> 点検：1回／3年（建基則第5条の2） 確認：1回／1年（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） <input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期 <ul style="list-style-type: none"> 第2編第2章2.3.2「内部天井」 注. 周期Ⅰ又は周期Ⅱの適用は、第2編第1章1.1.2「点検の周期」（d）を参考に判断してください。		
③点検等の作業項目及び作業内容 <ul style="list-style-type: none"> 共通仕様書（令和5年版）の作業項目、作業内容を参照ください。（第2編第2章2.3.2「内部天井」） ※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適用しているか、点検業者等に確認して実施してください。		
④不具合と対応 <ul style="list-style-type: none"> ボードのはがれ、破損 <ul style="list-style-type: none"> → 区切りよくはがし、張り替える。 → 天井の汚れは照度の低下につながる。 ※ 天井のシミは屋根からの漏水の他に、天井裏の配管の漏水が考えられる。 		
⑤関連図書等 <ul style="list-style-type: none"> 完成図 ・ 仕上げ表 		
⑥清掃周期と清掃方法 <ul style="list-style-type: none"> 適宜（製造者・専門業者が推奨する清掃を参考に実施してください。） 		

2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 A-42	内部天井 不燃積層せっこうボード (トラバーチン模様)	部門 <input checked="" type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
<p>■保全対象（写真）</p> <div style="text-align: center;">  <p>不燃積層せっこうボード</p> </div>		
<p>■保全対象の場所（図面等）</p> <div style="text-align: right; margin-bottom: 10px;">  不燃積層石膏ボード部 </div> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center; margin: 10px;">  <p>1階平面図</p> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px;">  <p>2階平面図</p> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px;">  <p>3階平面図</p> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px;">  <p>4階平面図</p> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px;">  <p>5階平面図</p> </div> </div>		

2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 A-43	内部天井 岩綿化粧吸音板	部門 <input checked="" type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
<p>①管理上の注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 執務室の天井は岩綿吸音板(仕上)・せっこうボード(下地)が貼ってあります。 ・ 強い衝撃を与えると破損する場合があります。 ・ 天井面には、天井内の配線、配管の点検を行うため、各所に点検口が取付けてあります。開く際には強い力で引っ張ると点検口自体が落下するおそれがあります。 		
<p>②定期点検等周期</p> <p><input type="checkbox"/> 法定点検等周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 点検：1回／3年（建基則第5条の2） ・ 確認：1回／1年（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） <p><input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第2編第2章2.3.2「内部天井」 <p>注．周期Ⅰ又は周期Ⅱの適用は、第2編第1章1.1.2「点検の周期」（d）を参考に判断してください。</p>		
<p>③点検等の作業項目及び作業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 共通仕様書（令和5年版）の作業項目、作業内容を参照ください。 （第2編第2章2.3.2「内部天井」） <p>※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適用しているか、点検業者等に確認して実施してください。</p>		
<p>④不具合と対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 剥がれ、破損がある場合 → 専門業者に補修等を依頼してください。 ・ 染みがある場合 → 屋根若しくは天井内配管からの漏水が考えられます。専門業者に補修等を依頼してください。 ・ 天井の下がり、点検口のずれがある場合 → 天井が下がった場合や、点検口が外れた場合は、専門業者に補修等を依頼してください。材料を交換する場合は、仕上げ表を参照し、同じ材質、色、柄の材料で補修するよう依頼してください。 		
<p>⑤関連図書等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 完成図 ・ 仕上げ表 ・ 取扱説明書 		
<p>⑥清掃周期と清掃方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 適宜（製造者・専門業者が推奨する清掃を参考に実施してください。） 		


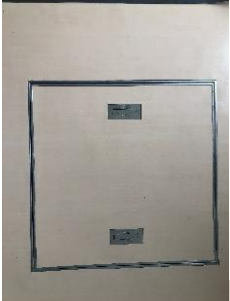



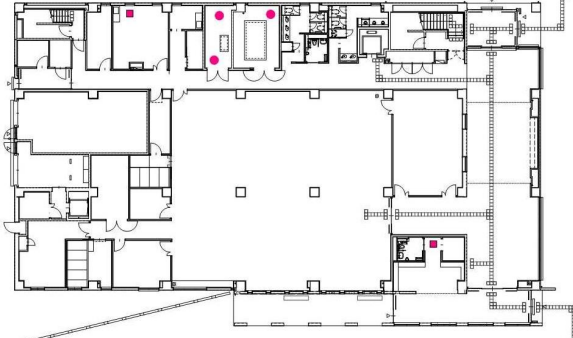
2) 保全の方法 (作成例 3-2)

<p>保全対象項目 A-43</p>	<p>内部天井 岩綿化粧吸音板</p>	<p>部門 <input checked="" type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械</p>
<p>■ 保全対象 (写真)</p> <div style="text-align: center;">  <p>岩綿吸音板 (天井)</p> </div>		
<p>■ 保全対象の場所 (図面等)</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>1 F 平面図</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>4 F 平面図</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>2 F 平面図</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>5 F 平面図</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>3 F 平面図</p> </div> <div style="width: 50%; margin-top: 20px;"> <p> 岩綿吸音板(仕上)+石膏ボード(下地) </p> <p> 不燃積層石膏ボード </p> </div> </div>		

2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 A-44	内部天井 天井・床点検口	部門 <input checked="" type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
①管理上の注意事項 <ul style="list-style-type: none"> 天井面及び床面には、天井・ピット内の配線、配管点検を行うため、各所に点検口が取付けてあります。天井点検口を開く際には、強い力で引っ張ると点検口自体が落下するおそれがあります。 		
②定期点検等周期 <input type="checkbox"/> 法定点検等周期 <ul style="list-style-type: none"> 点検：1回／3年（建基則第5条の2） 確認：1回／1年（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） <input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期 <ul style="list-style-type: none"> 第2編第2章2.3.2「内部天井」 注. 周期Ⅰ又は周期Ⅱの適用は、第2編第1章1.1.2「点検の周期」（d）を参考に判断してください。		
③点検等の作業項目及び作業内容 <ul style="list-style-type: none"> 共通仕様書（令和5年版）の作業項目、作業内容を参照ください。 （第2編第2章2.3.2「内部天井」） ※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適用しているか、点検業者等に確認して実施してください。		
④不具合と対応 <ul style="list-style-type: none"> 剥がれ、破損がある場合（天井点検口） <ul style="list-style-type: none"> → 専門業者に補修等を依頼してください。 がたつき（床点検口） <ul style="list-style-type: none"> → 4隅のボルトの緩みを点検してください。締め直してもがたつく場合は、専門業者に依頼してください。 		
⑤関連図書等 <ul style="list-style-type: none"> 完成図 		
⑥清掃周期と清掃方法 <ul style="list-style-type: none"> 適宜（製造者・専門業者が推奨する清掃を参考に実施してください。） 		


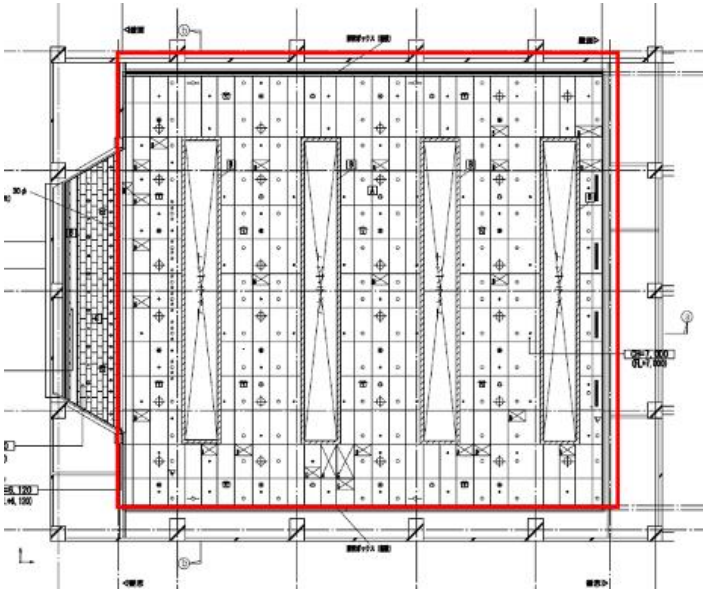
2) 保全の方法 (作成例 3-2)

保全対象項目 A-44	内部天井 天井・床点検口	部門 ■ 建築 □ 電気 □ 機械
<p>■ 保全対象 (写真)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>天井点検口</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>床下点検口</p> </div> </div>		
<p>■ 保全対象の場所 (図面等)</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>1階平面図(天井点検口)</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>3階平面図(天井点検口)</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>2階平面図(天井点検口)</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>1階平面図(床点検口)</p> </div> </div>		

2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 A-45	内部天井 特定天井	部門 <input checked="" type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
<p>①管理上の注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇ホールは特定天井(*1)に該当します。 ・特定天井は、法令に定められた仕様や構造計算によって設計されています。改修に当たっては設計者にご相談ください。 <p>※特定天井(*1)：天井高さが6mを超え、かつ、水平投影面積が200㎡を超える部分。</p>		
<p>②定期点検等周期</p> <p><input type="checkbox"/>法定点検等周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・点検：1回／3年（建基則第5条の2） ・確認：1回／1年（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） <p><input type="checkbox"/>共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2編第2章2.3.2「内部天井」 <p>注、周期Ⅰ又は周期Ⅱの適用は、第2編第1章1.1.2「点検の周期」（d）を参考に判断してください。</p>		
<p>③点検等の作業項目及び作業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通仕様書（令和5年版）の作業項目、作業内容を参照ください。（第2編第2章2.3.2「内部天井」） <p>※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適用しているか、点検業者等に確認して実施してください。</p>		
<p>④不具合と対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補修は現状復旧としてください。現状から変える場合は特定天井の告示に合致させるよう設計者にご相談ください。 ・脱落・破損がある場合 <ul style="list-style-type: none"> → 専門業者に補修等を依頼してください。 ・漏水跡がある場合 <ul style="list-style-type: none"> → 屋根若しくは外壁からの漏水が考えられます。専門業者に補修等を依頼してください。 ・天井の下垂り、点検口のずれがある場合 <ul style="list-style-type: none"> → 天井が下がった場合は、専門業者に補修等を依頼してください。 		
<p>⑤関連図書等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完成図 		
<p>⑥清掃周期と清掃方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適宜（製造者・専門業者が推奨する清掃を参考に実施してください。） 		

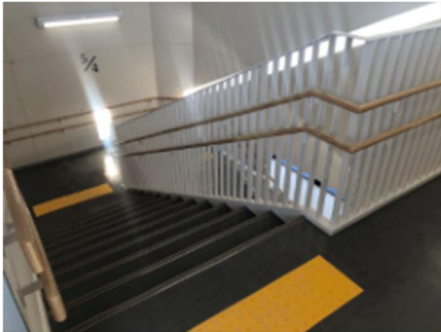
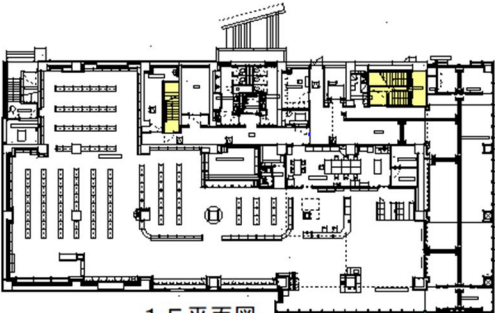
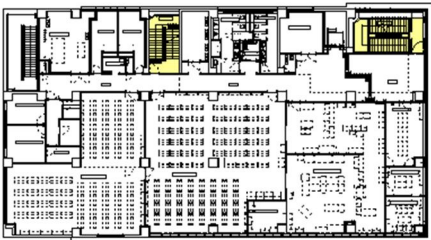
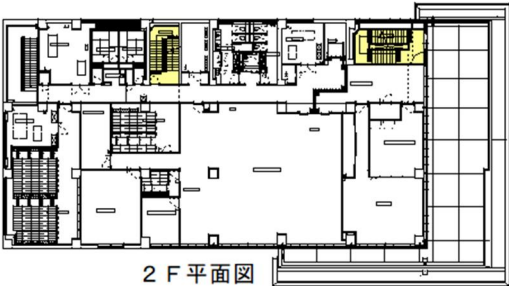

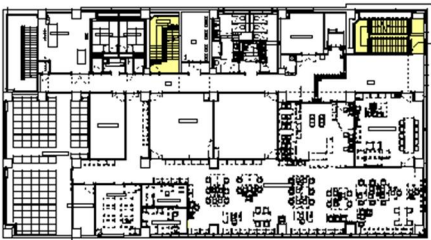

2) 保全の方法 (作成例 3-2)

保全対象項目 A-45	内部天井 特定天井	部門 <input checked="" type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
<p>■ 保全対象 (写真)</p> <div style="text-align: center;">  <p>特定天井 (講堂)</p> </div>		
<p>■ 保全対象の場所 (図面等)</p> <div style="text-align: center;">  <p>天井伏図 — 特定天井部</p> </div>		

2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 A-46	内部階段 床・手すり等	部門 <input checked="" type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
<p>①管理上の注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・階段は、昇降や避難等に使用します。通行に支障がないよう、また非常時には避難路としての役割を確実に果たせるよう、常に配慮しておかなければなりません。 ・階段に物を置かないように注意してください。 ・なお、外構部にある外部階段に鋼製手すりを設置しています。表面塗膜の劣化で母材が腐食及び大気中の汚染物質付着により錆が発生する場合があります。 		
<p>②定期点検等周期</p> <p><input type="checkbox"/> 法定点検等周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・点検：1回／3年（建基則第5条の2） ・確認：1回／1年（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） <p><input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2編第2章2.3.4「内部階段」 <p>注．周期Ⅰ又は周期Ⅱの適用は、第2編第1章1.1.2「点検の周期」（d）を参考に判断してください。</p>		
<p>③点検等の作業項目及び作業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通仕様書（令和5年版）の作業項目、作業内容を参照ください。（第2編第2章2.3.4「内部階段」） <p>※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適用しているか、点検業者等に確認して実施してください。</p>		
<p>④不具合と対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さび、取付け状態のがたつきがある場合 → 専門業者に補修等を依頼してください。 ・ノンスリップの浮き、ゴムの剥がれ → 浮きやゴムの剥がれが生じた場合はすぐに復旧してください。転倒事故を招くおそれがあります。専門業者に補修等を依頼してください。 		
<p>⑤関連図書等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完成図 ・仕上げ表 		
<p>⑥清掃周期と清掃方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通仕様書（令和5年版）の清掃周期及び清掃方法を参照ください。（第4編第2章2.2.8「階段」） 		



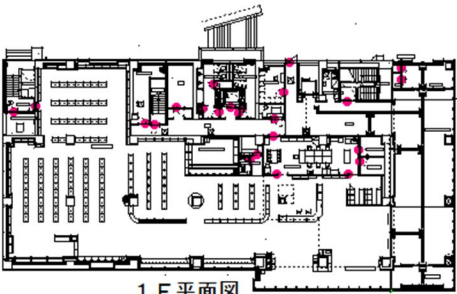
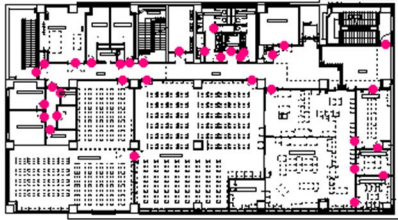
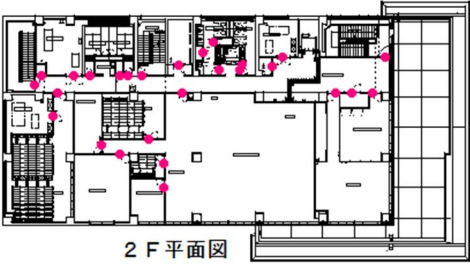


2) 保全の方法 (作成例 3-2)

<p>保全対象項目 A-46</p>	<p>内部階段 床・手すり等</p>	<p>部門 ■ 建築 □ 電気 □ 機械</p>
<p>■ 保全対象 (写真)</p> <div style="text-align: center;">  <p>階段 床・手すり</p> </div>		
<p>■ 保全対象の場所 (図面等)</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>1 F 平面図</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>4 F 平面図</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>2 F 平面図</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>5 F 平面図</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>3 F 平面図</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>内部階段</p> </div> </div>		

2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 A-47	内部建具 鋼製・鋼製軽量建具（扉）	部門 <input checked="" type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
<p>①管理上の注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドアの開閉を強く行うことは故障の原因になることがあります。必ず取手、引手を持って開閉を行ってください。 ・ドアの表面には塗装やシート貼を施してありますので、表面に硬いもの等をぶつけたり擦ったりすると仕上げが剥がれて錆の原因になる場合があります。 ・ドアを開放状態にしてドアの垂直方向に力を加えるとドア本体や丁番金物等が変形し開閉に支障をきたす場合があります。 		
<p>②定期点検等周期</p> <p><input type="checkbox"/> 法定点検等周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・点検：1回／3年（建基則第5条の2） ・確認：1回／1年（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） <p><input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2編第2章2.3.5「内部建具」 <p>注．周期Ⅰ又は周期Ⅱの適用は、第2編第1章1.1.2「点検の周期」（d）を参考に判断してください。</p>		
<p>③点検等の作業項目及び作業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通仕様書（令和5年版）の作業項目、作業内容を参照ください。（第2編第2章2.3.5「内部建具」） <p>※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適用しているか、点検業者等に確認して実施してください。</p>		
<p>④不具合と対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・損傷、錆、がたつきがある場合 → 専門業者に補修等を依頼してください。 ・開閉不良、施錠しにくい → 丁番、ドアクローザ部分に注油してください。それでも改善されない場合は専門業者に補修等を依頼してください。地震後に起こった開閉不良等は躯体自体の変形が原因であることも考えられます。専門業者に調査、補修等を依頼してください。 		
<p>⑤関連図書等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完成図 ・仕上げ表 ・取扱説明書 		
<p>⑥清掃周期と清掃方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通仕様書（令和5年版）の清掃周期及び清掃方法を参照ください。（第4編第2章第2節「場所別の清掃」） 		

2) 保全の方法 (作成例 3-2)

<p>保全対象項目 A-47</p>	<p>内部建具 鋼製・鋼製軽量建具 (扉)</p>	<p>部門 ■ 建築 □ 電気 □ 機械</p>
<p>■ 保全対象 (写真)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p style="text-align: center;">内部建具 鋼製・鋼製軽量建具 (扉)</p>		
<p>■ 保全対象の場所 (図面等)</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>1 F 平面図</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>4 F 平面図</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>2 F 平面図</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>5 F 平面図</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>3 F 平面図</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>鋼製・鋼製軽量建具</p> </div> </div>		

2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 A-48	内部建具 自動閉鎖式鋼製防火扉	部門 <input checked="" type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
<p>①管理上の注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドアの閉鎖軌道内やその周囲に物を置くと、ドアの閉鎖及び避難上障害になりますので注意してください。 ・ドアの表面には塗装を施してありますので、表面に硬いもの等をぶついたり擦ったりすると仕上げが剥がれて錆の原因になる場合があります。 		
<p>②定期点検等周期</p> <p><input type="checkbox"/>法定点検等周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・点検：1回／1年（建基則第6条の2） ・確認：1回／6か月（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） <p><input type="checkbox"/>共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2編第6章6.3.3「防火設備」 		
<p>③点検等の作業項目及び作業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通仕様書（令和5年版）の作業項目、作業内容を参照ください。 （第2編第6章6.3.3「防火設備」） <p>※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適用しているか、点検業者等に確認して実施してください。</p>		
<p>④不具合と対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・損傷、錆、がたつきがある場合 → 専門業者に補修等を依頼してください。 ・開閉不良、施錠しにくい場合 → 専門業者に補修等を依頼してください。地震後に起こった開閉不良等は躯体自体の変形が原因であることも考えられます。専門業者に調査、補修等を依頼してください。 		
<p>⑤関連図書等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完成図 ・仕上げ表 ・取扱説明書 		
<p>⑥清掃周期と清掃方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通仕様書（令和5年版）の清掃周期及び清掃方法を参照ください。 （第4編第2章第2節「場所別の清掃」） 		

2) 保全の方法 (作成例 3-2)

<p>保全対象項目 A-48</p>	<p>内部建具 自動閉鎖式鋼製防火扉</p>	<p>部門 ■ 建築 □ 電気 □ 機械</p>
<p>■ 保全対象 (写真)</p>		
		
<p>自動閉鎖式鋼製防火扉</p>		<p>自動閉鎖式鋼製防火扉</p>
<p>■ 保全対象の場所 (図面等)</p>		
		
<p>1 F 平面図</p>		<p>4 F 平面図</p>
		
<p>2 F 平面図</p>		<p>5 F 平面図</p>
		<p>3 F 平面図</p>
		<p>● 自動閉鎖式鋼製防火戸</p>

2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 A-49	内部建具 自動閉鎖式鋼製防火シャッター	部門 <input checked="" type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
①管理上の注意事項 ・シャッターの下部やその周囲に物を置くと、閉鎖及び避難上障害になりますので注意してください。		
②定期点検等周期 <input type="checkbox"/> 法定点検等周期 ・点検：1回／1年（建基則第6条の2） ・確認：1回／6か月（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） <input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期 ・第2編第6章6.3.3「防火設備」		
③点検等の作業項目及び作業内容 ・共通仕様書（令和5年版）の作業項目、作業内容を参照ください。 （第2編第6章6.3.3「防火設備」） ※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適用しているか、点検業者等に確認して実施してください。		
④不具合と対応 ・損傷、錆、がたつきがある場合 → 専門業者に補修等を依頼してください。 ・開閉不良がある場合 → 専門業者に補修等を依頼してください。地震後に起こった開閉不良等は躯体自体の変形が原因であることも考えられます。専門業者に調査、補修等を依頼してください。		
⑤関連図書等 ・完成図 ・仕上げ表 ・取扱説明書		
⑥清掃周期と清掃方法 ・適宜（製造者・専門業者が推奨する清掃を参考に実施してください。）		


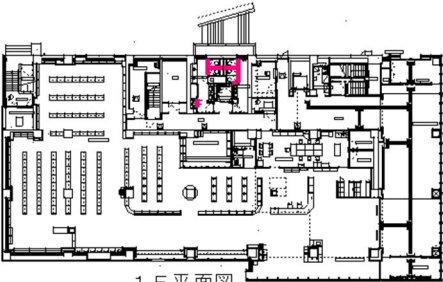
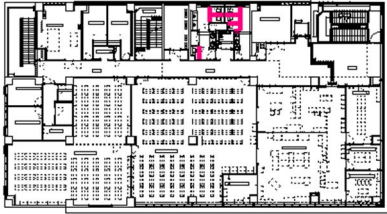
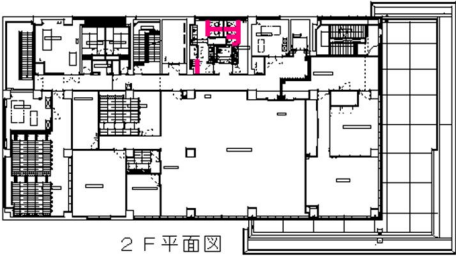



2) 保全の方法 (作成例 3-2)

<p>保全対象項目 A-49</p>	<p>内部建具 自動閉鎖式鋼製防火シャッター</p>	<p>部門 ■ 建築 □ 電気 □ 機械</p>
<p>■ 保全対象 (写真)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="312 465 740 786">  </div> <div data-bbox="839 443 1310 792">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="300 815 778 851"> <p>自動閉鎖式鋼製防火シャッター(全景)</p> </div> <div data-bbox="970 815 1203 851"> <p>スイッチボックス</p> </div> </div>		
<p>■ 保全対象の場所 (図面等)</p> <div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;"> <p>————— 電動防煙シートシャッター位置</p> </div> <div data-bbox="316 1061 1257 1693">  </div> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">2階平面図</p>		

2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 A-50	内部その他 トイレブース	部門 <input checked="" type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
①管理上の注意事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ブースの扉の開閉を力強く行うことは、故障の原因になる場合があります。 ・表面はメラミン化粧板張りとしています。強い衝撃を与えると傷や破損する場合があります。 		
②定期点検等周期 <input type="checkbox"/> 法定点検等周期 <ul style="list-style-type: none"> ・点検：1回／3年（建基則第5条の2） ・確認：1回／1年（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） <input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期 <ul style="list-style-type: none"> ・第2編第2章2.3.1「内壁・柱・はり」 注. 周期Ⅰ又は周期Ⅱの適用は、第2編第1章1.1.2「点検の周期」（d）を参考に判断してください。		
③点検等の作業項目及び作業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・共通仕様書（令和5年版）の作業項目、作業内容を参照ください。（第2編第2章2.3.1「内壁・柱・はり」） ※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適用しているか、点検業者等に確認して実施してください。		
④不具合と対応 <ul style="list-style-type: none"> ・傷、がたつきがある場合 <ul style="list-style-type: none"> → 専門業者に補修等を依頼してください。材料を交換する場合は、仕上げ表を参照し、同じ材質、色、柄の材料で補修するよう依頼してください。 ・開閉しにくい場合 <ul style="list-style-type: none"> → 丁番に注油してください。それでも改善されない場合は、専門業者に補修を依頼してください。 		
⑤関連図書等 <ul style="list-style-type: none"> ・完成図 ・仕上げ表 		
⑥清掃周期と清掃方法 <ul style="list-style-type: none"> ・共通仕様書（令和5年版）の清掃周期及び清掃方法を参照ください。（第4編第2章2節「場所別の清掃」） 		

2) 保全の方法 (作成例 3-2)

<p>保全対象項目 A-50</p>	<p>内部その他 トイレブース</p>	<p>部門 <input checked="" type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械</p>
<p>■保全対象 (写真)</p> <div style="text-align: center;">  <p>トイレブース</p> </div>		
<p>■保全対象の場所 (図面等)</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>1 F 平面図</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>4 F 平面図</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>2 F 平面図</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>5 F 平面図</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>3 F 平面図</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>トイレブース</p> </div> </div>		

2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 A-51	内部その他 シャワーユニット	部門 <input checked="" type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
<p>①管理上の注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ けがや漏水のおそれがありますので、壁に穴を開けて器具付けを行ったり、位置を変えたりしないでください。 ・ シンナー等の溶剤、アルコール、アンモニア等の薬品、オイルを使用しないでください。また、排水口へ流さないでください。漏水、変色、ふくれ、割れ等の原因になります。 ・ 窓枠に物を置いたり、ドアにもたれたり等の力を加えることをしないでください。けがや漏水、破損のおそれがあります。 		
<p>②定期点検等周期</p> <p><input type="checkbox"/> 法定点検等周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 点検：なし <p><input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和 5 年版）等に規定された点検周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 取扱説明書等を参考に実施してください。 		
<p>③点検等の作業項目及び作業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 取扱説明書等を参考に実施してください。 		
<p>④不具合と対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 故障・異常を確認したら、専門業者に連絡してください。 		
<p>⑤関連図書等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設計図書 ・ 施工図 ・ 取扱説明書 		
<p>⑥清掃周期と清掃方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 共通仕様書（令和 5 年版）の清掃周期及び清掃方法を参照ください。（第 4 編第 2 章 2.2.10 「浴室・シャワールーム・脱衣室」） 		

2) 保全の方法 (作成例 3-2)

保全対象項目 A-51	内部その他 シャワーユニット	部門 ■ 建築 □ 電気 □ 機械
<p>■ 保全対象の場所 (写真)</p> <div data-bbox="903 568 1262 1048"></div> <p data-bbox="1046 1061 1110 1097">全景</p> <div data-bbox="325 1240 692 1727"></div> <p data-bbox="411 1742 580 1778">全景 (外観)</p> <div data-bbox="903 1240 1270 1727"></div> <p data-bbox="1015 1742 1184 1778">全景 (内観)</p>		

2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 A-52	内部その他 可動間仕切り壁	部門 <input checked="" type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
①管理上の注意事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 3F（税）事務室（1）、4F（法）事務室（1）には、可動間仕切り壁が設置されています。 ・ 表面は樹脂焼付塗装としています。強い衝撃を与えると傷や破損する場合があります。 		
②定期点検等周期 <input type="checkbox"/> 法定点検等周期 <ul style="list-style-type: none"> ・ 点検：1回／3年（建基則第5条の2） ・ 確認：1回／1年（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） <input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期 <ul style="list-style-type: none"> ・ 第2編第2章2.3.1「内壁・柱・はり」 注．周期Ⅰ又は周期Ⅱの適用は、第2編第1章1.1.2「点検の周期」（d）を参考に判断してください。		
③点検等の作業項目及び作業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ 共通仕様書（令和5年版）の作業項目、作業内容を参照ください。 （第2編第2章2.3.1「内壁・柱・はり」） ※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適用しているか、点検業者等に確認して実施してください。		
④不具合と対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 傷、がたつきがある場合 <ul style="list-style-type: none"> → 専門業者に補修等を依頼してください。 材料を交換する場合は、仕上げ表を参照し、同じ材質、色、柄の材料で補修するよう依頼してください。 		
⑤関連図書等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 完成図 ・ 取扱説明書 		
⑥清掃周期と清掃方法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 共通仕様書（令和5年版）の清掃周期及び清掃方法を参照ください。 （第4編第2章2節「場所別の清掃」） 		

2) 保全の方法 (作成例 3-2)

保全対象項目 A-52	内部その他 可動間仕切り壁	部門 <input checked="" type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
----------------	---------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------

■ 保全対象 (写真)



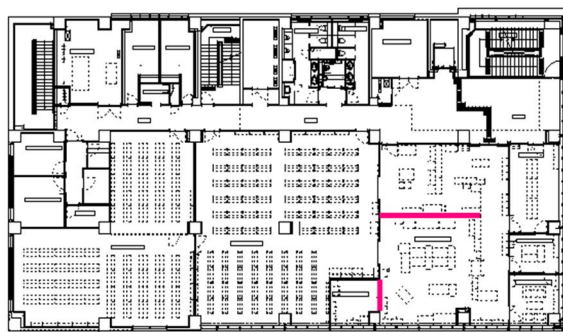
可動間仕切り壁

■ 保全対象の場所 (図面等)

■ 可動間仕切り



3 F 平面図

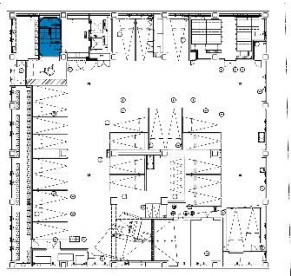


4 F 平面図

2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 A-53	内部その他 避難設備等	部門 <input checked="" type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
①管理上の注意事項 <ul style="list-style-type: none"> ・避難設備等として、避難時に緩降機や階段の使用を想定しています。 ・避難経路には物品等を置かないようにしてください。 		
②定期点検等周期 <input type="checkbox"/> 法定点検等周期 <ul style="list-style-type: none"> ・点検：1回／3年（建基則第5条の2） 機器点検：1回／6か月、総合点検：1回／1年（消防法 平成16年消防庁告示第9号） ・確認：1回／1年（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） <input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期 <ul style="list-style-type: none"> ・第2編第6章6.2.2「点検・保守」、6.3.6「その他の避難設備等」 		
③点検等の作業項目及び作業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・共通仕様書（令和5年版）の作業項目、作業内容を参照ください。 （第2編第6章6.3.6「その他の避難設備等」） ・消防法関係は、昭和50年消防庁告示第14号及び平成14年消防予第172号を参照ください。 ※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適用しているか、点検業者等に確認して実施してください。		
④不具合と対応 <ul style="list-style-type: none"> ・損傷、さび、がたつきがある場合 → 専門業者に調査、補修を依頼してください。 ・避難ルートにおける扉等の開閉不良がある場合 → 丁番に注油してください。それでも改善されない場合は専門業者に補修を依頼してください。 地震時に起こった開閉不良などは、躯体自体の変形が原因になることも考えられます。 専門業者に補修を依頼してください。 		
⑤関連図書等 <ul style="list-style-type: none"> ・完成図 ・取扱説明書 		
⑥清掃周期と清掃方法 <ul style="list-style-type: none"> ・適宜（附属品その他引渡書による。） 		

2) 保全の方法 (作成例 3-2)

保全対象項目 A-53	内部その他 避難設備等	部門 <input checked="" type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
■ 保全対象 (写真)		
		
避難ルート (階段)	緩降機 (遠景)	緩降機 (近景)
■ 保全対象の場所 (図面等)		
■ 避難階段 ▲ 緩降機 → 避難経路		
		
B 1 階平面図	1 階平面図	2 階平面図
		
3 階平面図	4 階平面図	5 階平面図
		
6 階平面図	7 階平面図	8 階平面図

2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 A-54	内部その他 移動間仕切り壁	部門 <input checked="" type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
<p>①管理上の注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（町）読み聞かせ室、（国町）共用会議室、（税）会議室には、使用条件によって、部屋を区画できる移動間仕切り壁が設置されています。天井からのレールで吊っているため、壁の設置時に力強く移動させたり、無理な方向に力を加えたりすると、レール等が故障する原因になる場合があります。 ・表面は焼付鋼板としています。強い衝撃を与えると傷や破損する場合があります。 		
<p>②定期点検等周期</p> <p><input type="checkbox"/> 法定点検等周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・点検：1回／3年（建基則第5条の2） ・確認：1回／1年（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） <p><input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2編第2章2.3.1「内壁・柱・はり」 <p>注．周期Ⅰ又は周期Ⅱの適用は、第2編第1章1.1.2「点検の周期」（d）を参考に判断してください。</p>		
<p>③点検等の作業項目及び作業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通仕様書（令和5年版）の作業項目、作業内容を参照ください。 （第2編第2章2.3.1「内壁・柱・はり」） <p>※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適用しているか、点検業者等に確認して実施してください。</p>		
<p>④不具合と対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・傷、がたつきがある場合 <ul style="list-style-type: none"> → 専門業者に補修等を依頼してください。材料を交換する場合は、仕上げ表を参照し、同じ材質、色、柄の材料で補修するよう依頼してください。 ・移動しにくい場合 <ul style="list-style-type: none"> → 専門業者に補修を依頼してください。 		
<p>⑤関連図書等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完成図 ・取扱説明書 ・仕上げ表 		
<p>⑥清掃周期と清掃方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通仕様書（令和5年版）の清掃周期及び清掃方法を参照ください。 （第4編第2章2節「場所別の清掃」） 		

2) 保全の方法 (作成例 3-2)

<p>保全対象項目 A-54</p>	<p>内部その他 移動間仕切り壁</p>	<p>部門 ■ 建築 □ 電気 □ 機械</p>
<p>■ 保全対象 (写真)</p>		
		
<p>2・3階会議室</p>	<p>1階書庫</p>	
<p>■ 保全対象の場所 (図面等)</p>		
 <p>1 F 平面図</p>	 <p>3 F 平面図</p>	
 <p>2 F 平面図</p>	<p>— 移動間仕切り</p>	

2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 A-55	内部その他 ピクチャーレール	部門 <input checked="" type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
<p>①管理上の注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 掲示物を下げる時の吊り下げ荷重は、ハンガー 1 本当たり〇k g 以下としてください。 ・ ランナー（全体で）は 1 箇所当たり〇k g 以下としてください。 		
<p>②定期点検等周期</p> <p><input type="checkbox"/>法定点検等周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 点検：なし <p><input type="checkbox"/>共通仕様書（令和 5 年版）等に規定された点検周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 取扱説明書等を参考に実施してください。 		
<p>③点検等の作業項目及び作業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 取扱説明書等を参考に実施してください。 		
<p>④不具合と対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 損傷がある場合 <ul style="list-style-type: none"> → 専門業者に補修等を依頼してください。 ・ 正常に作動しない場合 <ul style="list-style-type: none"> → 注油してください。それでも改善されない場合は専門業者に補修等を依頼してください。 		
<p>⑤関連図書等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 完成図 ・ 取扱説明書 		
<p>⑥清掃周期と清掃方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 適宜（附属品その他引渡書による。） 		

2) 保全の方法（作成例 3-2）

<p>保全対象項目 A-55</p>	<p>内部その他 ピクチャーレール</p>	<p>部門 ■ 建築 □ 電気 □ 機械</p>
<p>■ 保全対象（写真）</p> <div data-bbox="561 501 1029 848" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="683 857 911 891">ピクチャーレール</p>		
<p>■ 保全対象の場所（図面等）</p> <div data-bbox="220 1093 1276 1736" data-label="Diagram"> <p data-bbox="225 1115 702 1164">— ピクチャーレール</p> </div>		

2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 A-56	内部その他 移動書架	部門 <input checked="" type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
①管理上の注意事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 手動式の駆動装置を操作する場合、ストッパーを解除し移動する方向に障害となるものがないことを確認してから操作してください。 ・ 複数の棚を纏めて移動した場合、駆動ギアが破損するおそれがあります。移動は棚 1 箇所ずつ行うようにしてください。 		
②定期点検等周期 <input type="checkbox"/> 法定点検等周期 <ul style="list-style-type: none"> ・ 点検：なし <input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和 5 年版）等に規定された点検周期 <ul style="list-style-type: none"> ・ 取扱説明書等を参考に実施してください。 		
③点検等の作業項目及び作業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ 共通仕様書（令和 5 年版）の作業項目、作業内容を参考としてください。 （第 2 編第 2 章 2.3.7「電動書架」） ・ 取扱説明書等を参考に実施してください。 		
④不具合と対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 変形、異物がある場合 → 専門業者に補修等を依頼してください。 ・ 正常に作動しない場合 → 専門業者に補修等を依頼してください。 		
⑤関連図書等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 完成図 ・ 取扱説明書 		
⑥清掃周期と清掃方法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 適宜（附属品その他引渡書による。） 		

2) 保全の方法 (作成例 3-2)

<p>保全対象項目 A-56</p>	<p>内部その他 移動書架</p>	<p>部門 <input checked="" type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械</p>
<p>■ 保全対象 (写真)</p>		
		
<p>移動書架</p>		<p>移動書架</p>
<p>■ 保全対象の場所 (図面等)</p>		
		
<p>2 F 平面図</p>		<p>4 F 平面図</p>
		
<p>3 F 平面図</p>		<p>5 F 平面図</p>
		<p> 集密書庫</p>

2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 A-57	内部その他 ベビーシート・ベビーチェア	部門 <input checked="" type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
①管理上の注意事項 <ul style="list-style-type: none"> ベビーシートは幼児の着替え、オムツ替えの際に安全に作業ができるように、シートベルトが設置されています。使用しない場合はシートを閉じてください。 ベビーチェアは幼児を安全に座らせておくために設置しています。 		
②定期点検等周期 <input type="checkbox"/> 法定点検等周期 <ul style="list-style-type: none"> 点検：なし <input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期 <ul style="list-style-type: none"> 取扱説明書等を参考に実施してください。 		
③点検等の作業項目及び作業内容 <ul style="list-style-type: none"> 取扱説明書等を参考に実施してください。 		
④不具合と対応 <ul style="list-style-type: none"> 点検時に異常を発見 <ul style="list-style-type: none"> → 直ちに使用を中止し、専門業者に補修等を依頼してください。 		
⑤関連図書等 <ul style="list-style-type: none"> 完成図 ・ 取扱説明書 		
⑥清掃周期と清掃方法 <ul style="list-style-type: none"> 適宜（附属品その他引渡書による。） 		

2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 A-57	内部その他 ベビーシート・ベビーチェア	部門 <input checked="" type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
----------------	---------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------

■保全対象（写真）




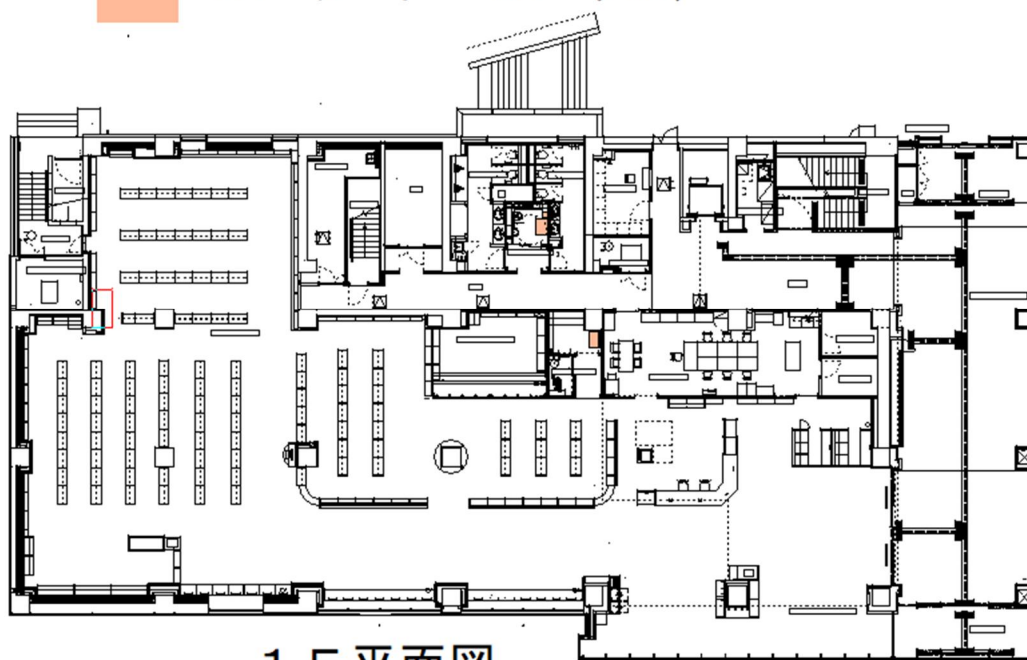
ベビーシート



ベビーチェア ベビーシート

■保全対象の場所（図面等）



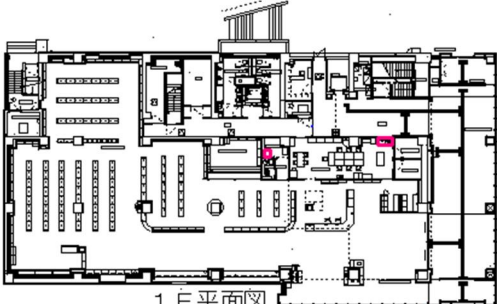
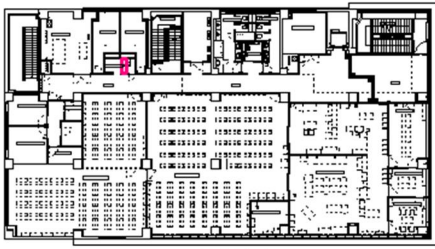
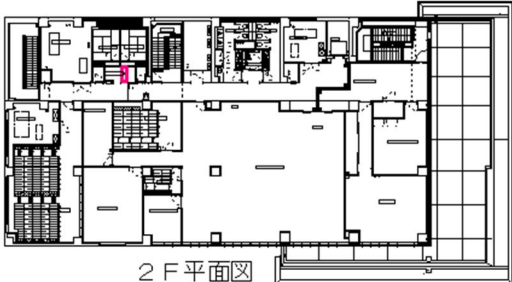

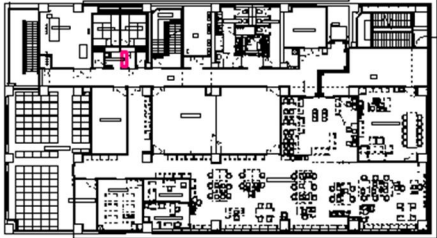
 ベビーシート・ベビーチェア



2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 A-58	内部その他 流し台・吊戸棚	部門 <input checked="" type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
①管理上の注意事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 湯沸室には流し台、吊戸棚、水切棚が設置されています。 ・ 扉のがたつき等はビスを締め直してください。 ・ 混合水栓を使用するときは、必ず水を先に出してください。水栓及び熱湯でやけどをするおそれがあります。 		
②定期点検等周期 <input type="checkbox"/> 法定点検等周期 <ul style="list-style-type: none"> ・ 点検：なし <input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期 <ul style="list-style-type: none"> ・ 取扱説明書等を参考に実施してください。 		
③点検等の作業項目及び作業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ 取扱説明書等を参考に実施してください。 		
④不具合と対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 損傷、開閉不良がある場合 <ul style="list-style-type: none"> → 専門業者に補修等を依頼してください。 ・ ごみ詰まりがある場合 <ul style="list-style-type: none"> → 排水の流れが悪くなりましたら、排水部分にストレーナがありますので清掃してください。それでも流れがスムーズに行かない場合は、専門業者に補修等を依頼してください。 		
⑤関連図書等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 完成図 ・ 取扱説明書 		
⑥清掃周期と清掃方法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 共通仕様書（令和5年版）の清掃周期及び清掃方法を参照ください。 （第4編第2章2.2.6「湯沸室」） 		

2) 保全の方法 (作成例 3-2)

<p>保全対象項目 A-58</p>	<p>内部その他 流し台・吊戸棚</p>	<p>部門 <input checked="" type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械</p>
<p>■ 保全対象 (写真)</p>		
		
<p>流し台</p>		<p>吊戸棚</p>
<p>■ 保全対象の場所 (図面等)</p>		
 <p>1 F 平面図</p>	 <p>4 F 平面図</p>	
 <p>2 F 平面図</p>	 <p>5 F 平面図</p>	
 <p>3 F 平面図</p>	<p>— 流し台・吊戸</p>	

2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 A-59	内部壁 防煙垂れ壁	部門 <input checked="" type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
<p>①管理上の注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 火災時に煙の流動を防ぐための垂れ壁です。位置を変更する場合は事前に計画通知等の申請手続き・検査を行った特定行政庁との協議が必要です。 		
<p>②定期点検等周期</p> <p><input type="checkbox"/> 法定点検等周期</p> <ul style="list-style-type: none"> 点検：1回/3年（建基則第5条の2）、1回/1年（建基則第6条の2） 機器点検：1回/6か月、総合点検：1回/1年（消防法 平成16年消防庁告示第9号） 確認：1回/6か月（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） <p><input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期</p> <ul style="list-style-type: none"> 第2編第6章6.3.5「排煙設備」 		
<p>③点検等の作業項目及び作業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 共通仕様書（令和5年版）の作業項目、作業内容を参照ください。 （第2編第6章6.3.5「排煙設備」） <p>※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適用しているか、点検業者等に確認して実施してください。</p>		
<p>④不具合と対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 損傷、亀裂等がある場合 → 専門業者に調査、補修を依頼してください。 		
<p>⑤関連図書等</p> <ul style="list-style-type: none"> 完成図 		
<p>⑥清掃周期と清掃方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 共通仕様書（令和5年版）の清掃周期及び清掃方法を参照ください。 （第4編第2章2節「場所別の清掃」） 		

2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 A-59	内部壁 防煙垂れ壁	部門 ■ 建築 □ 電気 □ 機械
----------------	-----------	----------------------

■ 保全対象（写真）

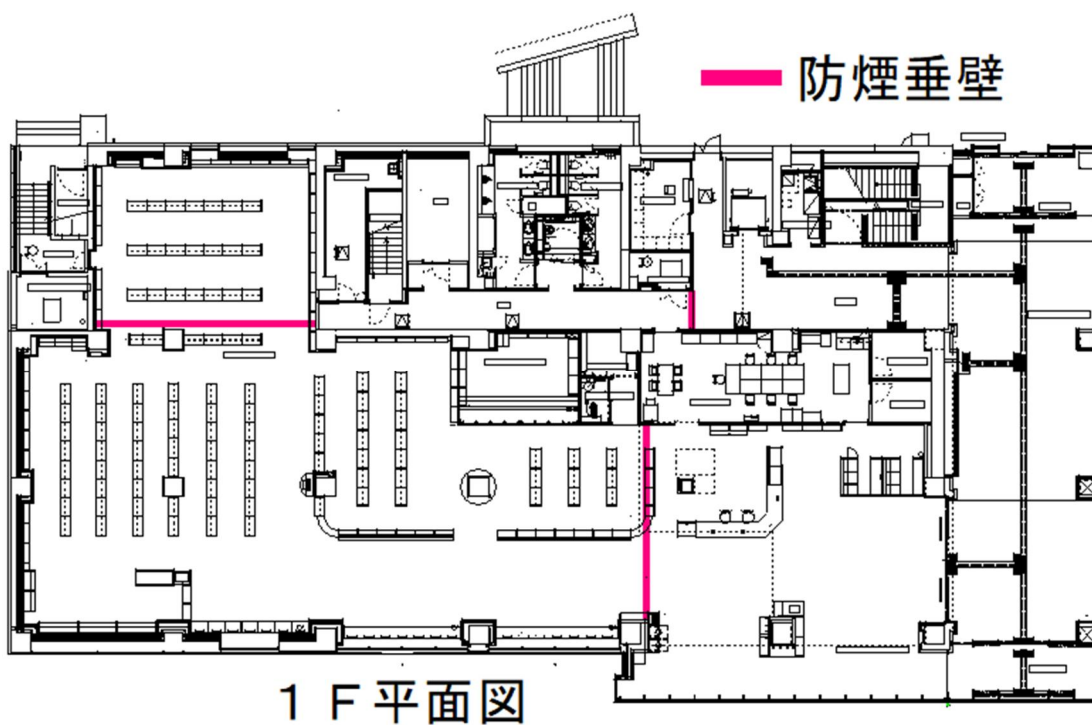


1階廊下



開架書庫（可動式）

■ 保全対象の場所（図面等）



2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 A-60	内部その他 マシンハッチ	部門 <input checked="" type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
<p>①管理上の注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マシンハッチ蓋の重量は最大約 255 k g と非常に重たいので、取り外しは必ず専門業者に依頼し挟まれ事故のないよう十分注意してください。 ・マシンハッチから免震装置の交換等で重量物をつり下ろす際は、ハッチ上部の天井及びダクトの解体が必要になります。 		
<p>②定期点検等周期</p> <p><input type="checkbox"/>法定点検等周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・点検：なし <p><input type="checkbox"/>共通仕様書（令和 5 年版）等に規定された点検周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取扱説明書等を参考に実施してください。 		
<p>③点検等の作業項目及び作業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取扱説明書等を参考に実施してください。 		
<p>④不具合と対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・損傷、錆、がたつきがある場合 → 専門業者に補修等を依頼してください。 		
<p>⑤関連図書等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設計図書 ・施工図 ・取扱説明書 		
<p>⑥清掃周期と清掃方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適宜（製造者・専門業者が推奨する清掃を参考に実施してください。） 		

2) 保全の方法 (作成例 3-2)

保全対象項目 A-60	内部その他 マシンハッチ	部門 ■ 建築 □ 電気 □ 機械
<p>■ 保全対象の場所 (写真)</p> <div data-bbox="204 674 730 1070">A close-up photograph of a machine hatch in a hallway. The hatch is a rectangular metal plate with a grid pattern, set into a carpeted floor. The surrounding walls are light-colored and the lighting is soft.</div> <p data-bbox="352 1077 612 1115">マシンハッチ近景</p> <div data-bbox="831 674 1362 1070">A full view photograph of a machine hatch in a hallway. The hatch is a rectangular metal plate with a grid pattern, set into a carpeted floor. The hallway is long and narrow, with light-colored walls and a carpeted floor. The lighting is soft and even.</div> <p data-bbox="970 1077 1230 1115">マシンハッチ全景</p>		

2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 A-61	外構 地盤面（舗装部分を除く）	部門 <input checked="" type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
①管理上の注意事項 ・敷地のコンクリート舗装、土間タイル舗装以外の部分は主に植込み、砂利敷きをしています。		
②定期点検等周期 <input type="checkbox"/> 法定点検等周期 ・点検：1回／3年（建基則第5条の2） ・確認：1回／1年（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） <input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期 ・第2編第8章8.3.1「敷地」 注. 周期Ⅰ又は周期Ⅱの適用は、第2編第1章1.1.2「点検の周期」（d）を参考に判断してください。		
③点検等の作業項目及び作業内容 ・共通仕様書（令和5年版）の作業項目、作業内容を参照ください。 （第2編第8章8.3.1「敷地」） ※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適用しているか、点検業者等に確認して実施してください。		
④不具合と対応 ・ひび割れ、段差、不陸、陥没がある場合 → 専門業者に調査を依頼してください。		
⑤関連図書等 ・完成図		
⑥清掃周期と清掃方法 ・適宜（製造者・専門業者が推奨する清掃を参考に実施してください。）		

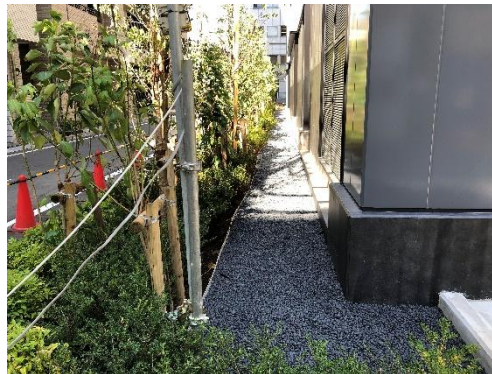
2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 A-61	外構 地盤面（舗装部分を除く）	部門 ■ 建築 □ 電気 □ 機械
----------------	-----------------	----------------------

■ 保全対象（写真）

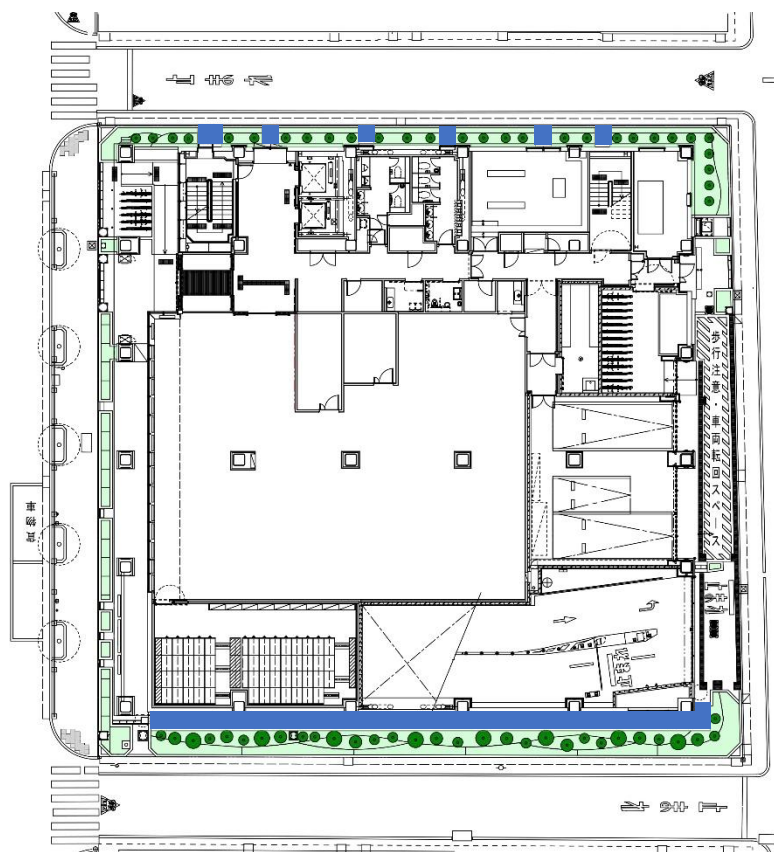


植込み部分



砂利敷き部分

■ 保全対象の場所（図面等）



■ 砂利敷

配置図

2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 A-62	外構 アスファルト舗装	部門 <input checked="" type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
<p>①管理上の注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車場、敷地内の通路の舗装はアスファルト舗装としています。災害に伴う地盤沈下や経年劣化、あるいは樹木の根張りによって、亀裂や割れが生じる場合があります。 ・ 定期的に舗装部の除草等をしてください。 		
<p>②定期点検等周期</p> <p><input type="checkbox"/> 法定点検等周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 点検：1回／3年（建基則第5条の2） ・ 確認：1回／1年（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） <p><input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第2編第8章8.3.1「敷地」 <p>注. 周期Ⅰ又は周期Ⅱの適用は、第2編第1章1.1.2「点検の周期」（d）を参考に判断してください。</p>		
<p>③点検等の作業項目及び作業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 共通仕様書（令和5年版）の作業項目、作業内容を参照ください。（第2編第8章8.3.1「敷地」） <p>※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適用しているか、点検業者等に確認して実施してください。</p>		
<p>④不具合と対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 亀裂、沈下がある場合 → 専門業者に相談してください。 		
<p>⑤関連図書等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 完成図 		
<p>⑥清掃周期と清掃方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 共通仕様書（令和5年版）の清掃周期及び清掃方法を参照ください。（第4編第3章4節建物周囲「構内通路」、「駐車場」） 		

2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 A-62	外構 アスファルト舗装	部門 <input checked="" type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
----------------	-------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------

■保全対象（写真）

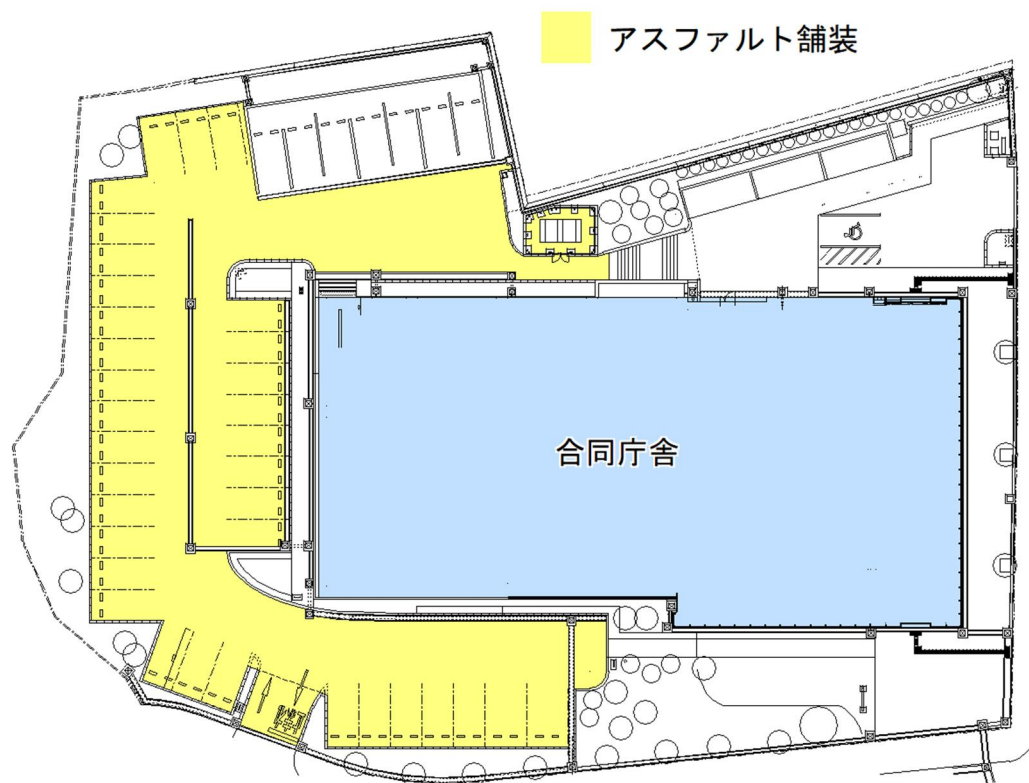


来庁者用駐車場仕上げ（アスファルト舗装）



来庁者用通路仕上げ（アスファルト舗装）

■保全対象の場所（図面等）



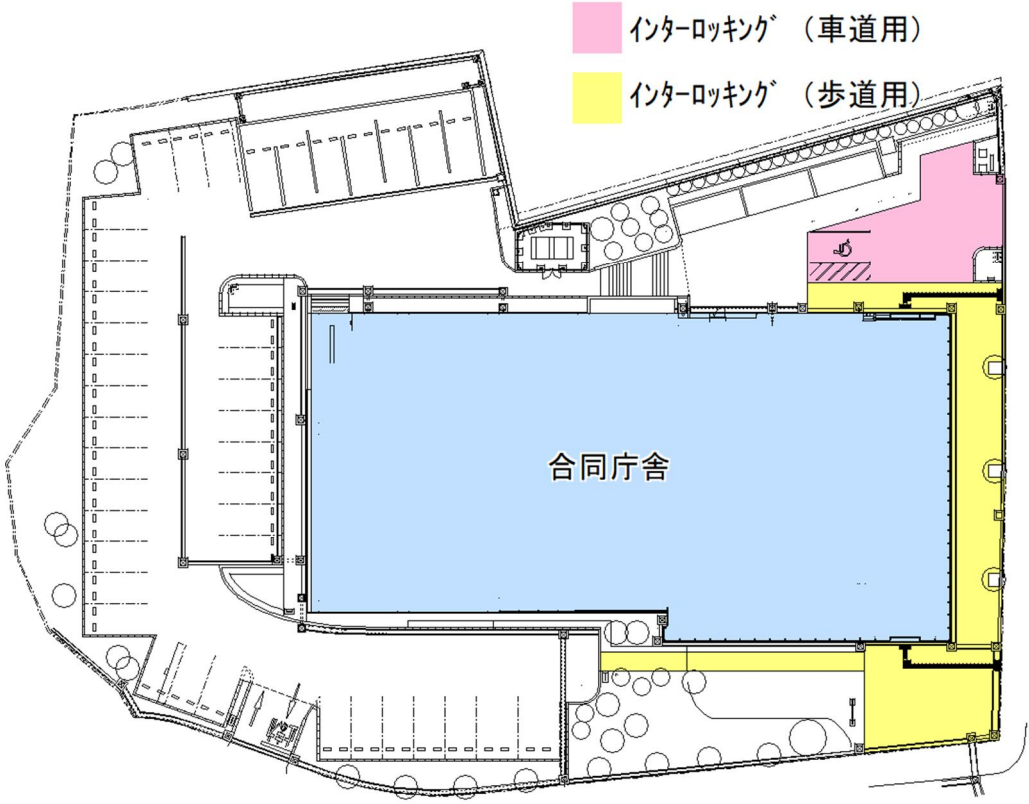


配置図

2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 A-63	外構 縁石等インターロッキング	部門 <input checked="" type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
①管理上の注意事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 東側はインターロッキングとしています。災害に伴う地盤沈下や経年劣化、あるいは樹木の根張りによって、段差、乱れが生じる場合があります。 ・ 車道、歩道部分があり、歩行用に車両を通行させると沈下等が生じる場合があります。 ・ 定期的に除草等をしてください。 		
②定期点検等周期 <input type="checkbox"/> 法定点検等周期 <ul style="list-style-type: none"> ・ 点検：1回／3年（建基則第5条の2） ・ 確認：1回／1年（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） <input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期 <ul style="list-style-type: none"> ・ 第2編第8章8.3.1「敷地」 注. 周期Ⅰ又は周期Ⅱの適用は、第2編第1章1.1.2「点検の周期」（d）を参考に判断してください。		
③点検等の作業項目及び作業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ 共通仕様書（令和5年版）の作業項目、作業内容を参照ください。（第2編第8章8.3.1「敷地」） ※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適用しているか、点検業者等に確認して実施してください。		
④不具合と対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 亀裂、沈下がある場合 → 専門業者に相談してください。 		
⑤関連図書等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 完成図 		
⑥清掃周期と清掃方法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 共通仕様書（令和5年版）の清掃周期及び清掃方法を参照ください。（第4編第3章4節建物周囲「構内通路」、「駐車場」） 		


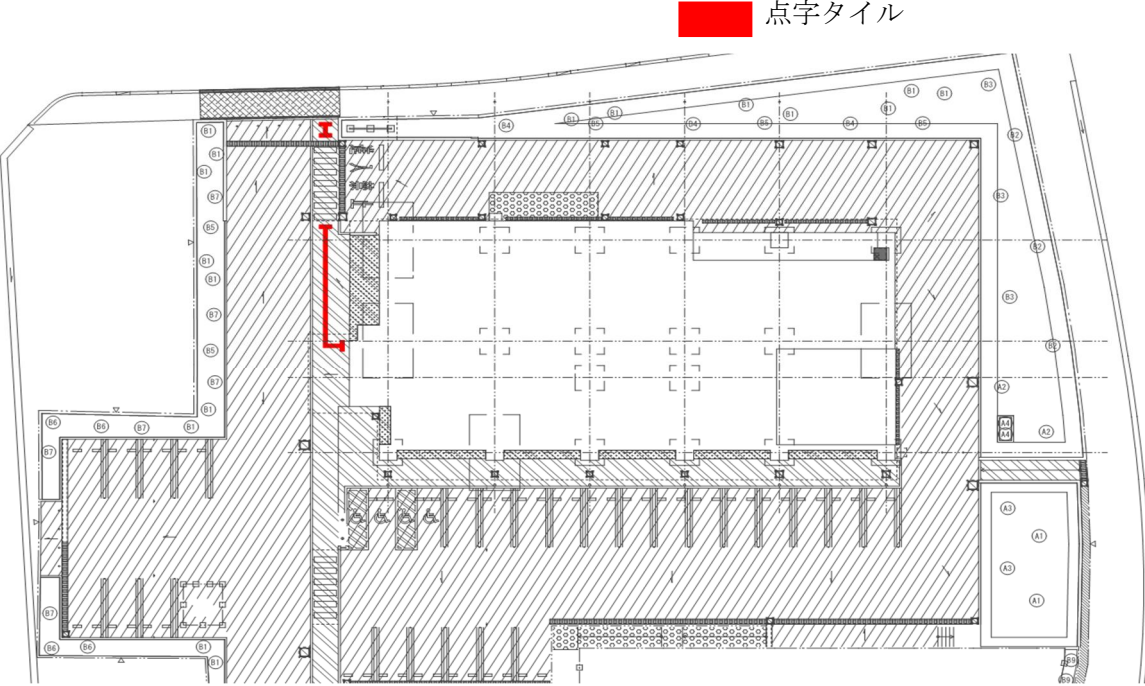
2) 保全の方法（作成例 3-2）

<p>保全対象項目 A-63</p>	<p>外構 縁石等インターロッキング</p>	<p>部門 ■ 建築 □ 電気 □ 機械</p>
<p>■ 保全対象（写真）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>インターロッキング（車道用）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>インターロッキング（歩道用）</p> </div> </div>		
<p>■ 保全対象の場所（図面等）</p> <div style="text-align: center;">  <p>配置図</p> </div>		

2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 A-64	外構 視覚障害者誘導用ブロック	部門 <input checked="" type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
①管理上の注意事項 ・外部の点字タイルは 300 角点字タイル張りとしています。硬いものや重いものを落としたりすると破損する場合があります。		
②定期点検等周期 □法定点検等周期 ・点検：1 回／3 年（建基則第 5 条の 2） ・確認：1 回／1 年（官公法 平成 17 年国土交通省告示第 551 号に基づく実施要領） □共通仕様書（令和 5 年版）等に規定された点検周期 ・第 2 編第 8 章 8.3.1 「敷地」 注. 周期 I 又は周期 II の適用は、第 2 編第 1 章 1.1.2 「点検の周期」(d) を参考に判断してください。		
③点検等の作業項目及び作業内容 ・共通仕様書（令和 5 年版）の作業項目、作業内容を参照ください。 （第 2 編第 8 章 8.3.1 「敷地」） ※なお、共通仕様書に定める作業項目、作業内容のうち、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適用しているか、点検業者等に確認して実施してください。		
④不具合と対応 ・ひび割れ、浮き、剥離がある場合 → 専門業者に補修等を依頼してください。 ・段差、あばれがある場合 → 歩行中に躓く原因にもなりますので、専門業者に補修等を依頼してください。 仕上げ表を参照し、同じ材質、色、柄の材料で補修するよう依頼してください。		
⑤関連図書等 ・完成図		
⑥清掃周期と清掃方法 ・共通仕様書（令和 5 年版）の清掃周期及び清掃方法を参照ください。 （第 4 編第 3 章 4 節建物周囲「構内通路」、「駐車場」）		


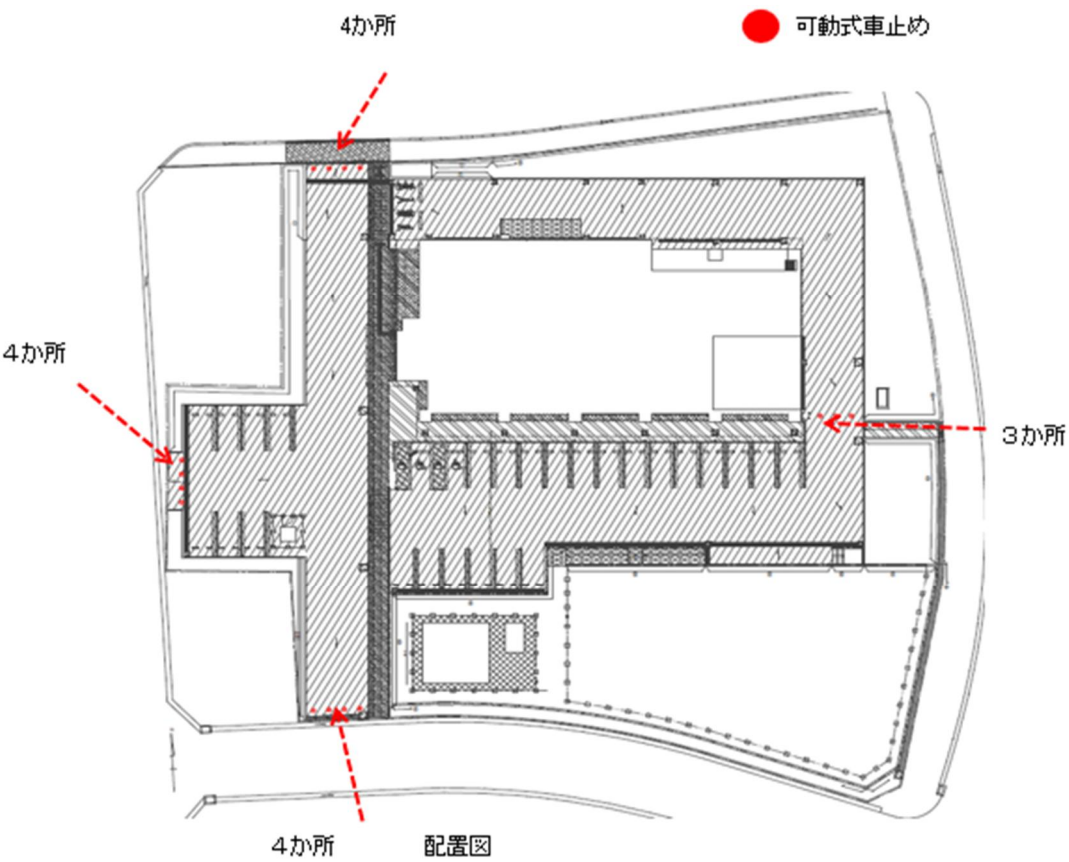
2) 保全の方法 (作成例 3-2)

<p>保全対象項目 A-64</p>	<p>外構 視覚障害者誘導用ブロック</p>	<p>部門 <input checked="" type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械</p>
<p>■ 保全対象 (写真)</p> <div style="text-align: center;">  <p>インターロッキング点字タイル</p> </div>		
<p>■ 保全対象の場所 (図面等)</p> <div style="text-align: center;">  <p>点字タイル</p> <p>配置図</p> </div>		

2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 A-65	外構 バリカー	部門 <input checked="" type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
<p>①管理上の注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 北・西・南側の各車出入口、東側植栽と建物との間に車止めを設置しております。使用用途外の通行を制限するためのものです。 使用方法は、収納型になっており、廻して引き揚げる操作です。鍵がピンロック式になっています。 		
<p>②定期点検等周期</p> <p><input type="checkbox"/>法定点検等周期</p> <ul style="list-style-type: none"> 点検：1回／3年（建基則第5条の2） 確認：1回／1年（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） <p><input type="checkbox"/>共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期</p> <ul style="list-style-type: none"> 第2編第8章8.3.1「敷地」 <p>注. 周期Ⅰ又は周期Ⅱの適用は、第2編第1章1.1.2「点検の周期」（d）を参考に判断してください。</p>		
<p>③点検等の作業項目及び作業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 共通仕様書（令和5年版）の作業項目、作業内容を参照ください。（第2編第8章8.3.1「敷地」） <p>※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適用しているか、点検業者等に確認して実施してください。</p>		
<p>④不具合と対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 破損、割れがある場合 <ul style="list-style-type: none"> → 部分補修できません。専門業者へ取り替えの依頼を行ってください。 動作不良がある場合 <ul style="list-style-type: none"> → 金属収納タイプは、ゴミが詰まり引き揚げられないケースがあります。洗浄し、再度試してください。状態が変わらない場合は、専門業者への連絡を行ってください。 		
<p>⑤関連図書等</p> <ul style="list-style-type: none"> 完成図 		
<p>⑥清掃周期と清掃方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 適宜（附属品その他引渡書による。） 		


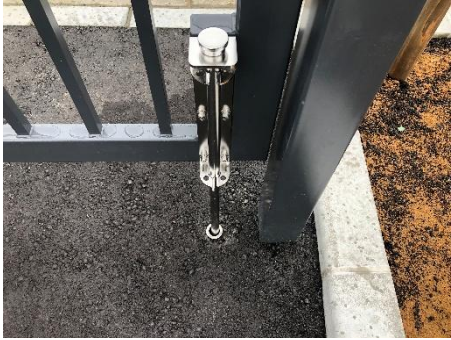
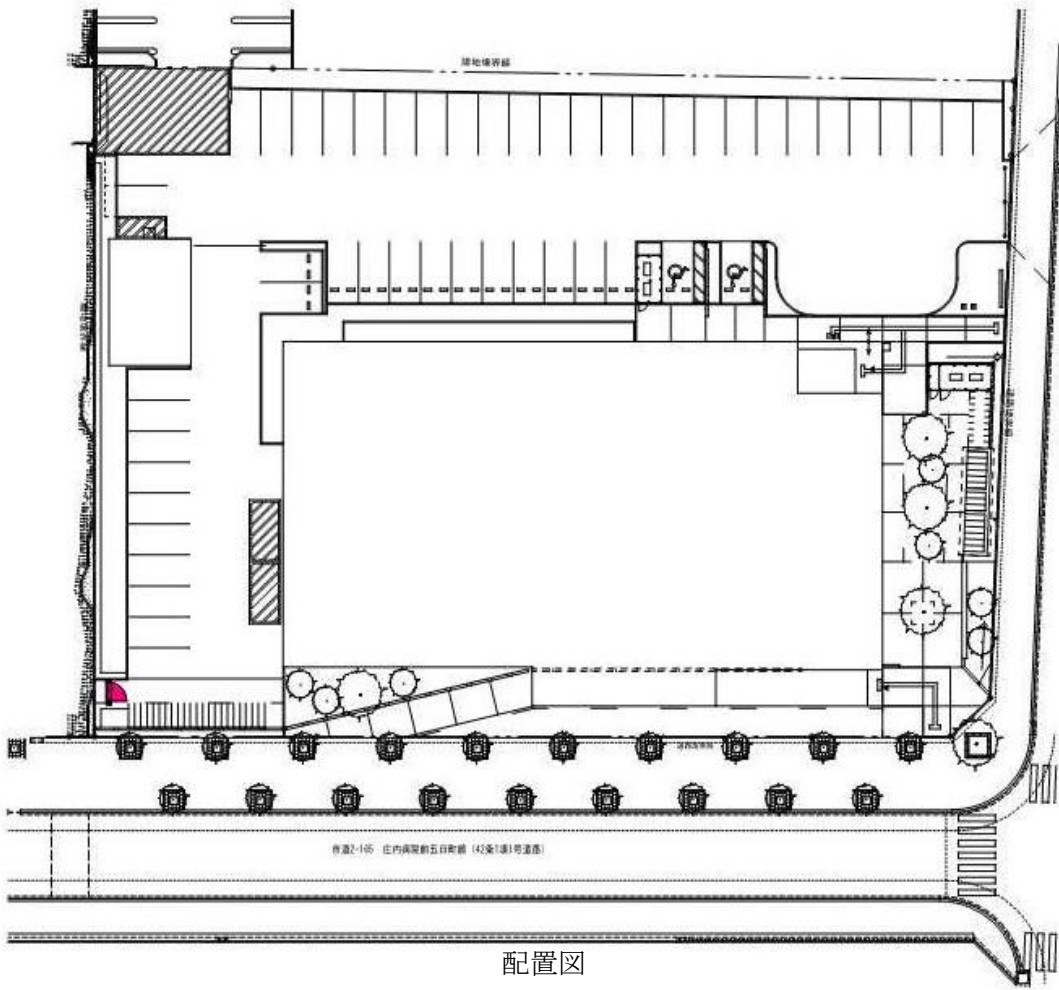
2) 保全の方法 (作成例 3-2)

<p>保全対象項目 A-65</p>	<p>外構 バリカー</p>	<p>部門 <input checked="" type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械</p>
<p>■保全対象 (写真)</p> <div style="text-align: center;">  <p>可動式車止め</p> </div>		
<p>■保全対象の場所 (図面等)</p> <div style="text-align: center;">  <p>配置図</p> </div>		

2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 A-66	外構 フェンス、門扉	部門 <input checked="" type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
<p>①管理上の注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 門扉はアルミ製です。耐食性、防錆性は、優れていますが、定期的な清掃をお願いします。また、表面は被膜処理を施していますので、清掃時は、中性洗剤を使用するようにしてください。 ・ 扉には床固定用のフランス落としを設置しております。必ず、固定するようにしてください。風に煽られ、故障の原因になります。 		
<p>②定期点検等周期</p> <p><input type="checkbox"/> 法定点検等周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 点検：1回／3年（建基則第5条の2） ・ 確認：1回／1年（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） <p><input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第2編第8章8.3.2「へい」8.3.3「門」 <p>注. 周期Ⅰ又は周期Ⅱの適用は、第2編第1章1.1.2「点検の周期」（d）を参考に判断してください。</p>		
<p>③点検等の作業項目及び作業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 共通仕様書（令和5年版）の作業項目、作業内容を参照ください。（第2編第8章8.3.2「へい」8.3.3「門」） <p>※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適用しているか、点検業者等に確認して実施してください。</p>		
<p>④不具合と対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 傷、破損、がたつき、開閉不良 <p>→ 全て、専門業者への連絡をお願いします。</p>		
<p>⑤関連図書等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 完成図 		
<p>⑥清掃周期と清掃方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 適宜（附属品その他引渡書による。） ・ 適宜（製造者・専門業者が推奨する清掃を参考に実施してください。） 		

2) 保全の方法（作成例 3-2）

<p>保全対象項目 A-66</p>	<p>外構 フェンス、門扉</p>	<p>部門 ■ 建築 □ 電気 □ 機械</p>
<p>■ 保全対象（写真）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="284 454 740 792">  <p style="text-align: center;">門扉（全景）</p> </div> <div data-bbox="863 454 1315 792">  <p style="text-align: center;">フランス落とし</p> </div> </div>		
<p>■ 保全対象の場所（図面等）</p> <div style="text-align: right; margin-bottom: 10px;"> ■ : 門扉位置 </div>  <p style="text-align: center;">配置図</p>		

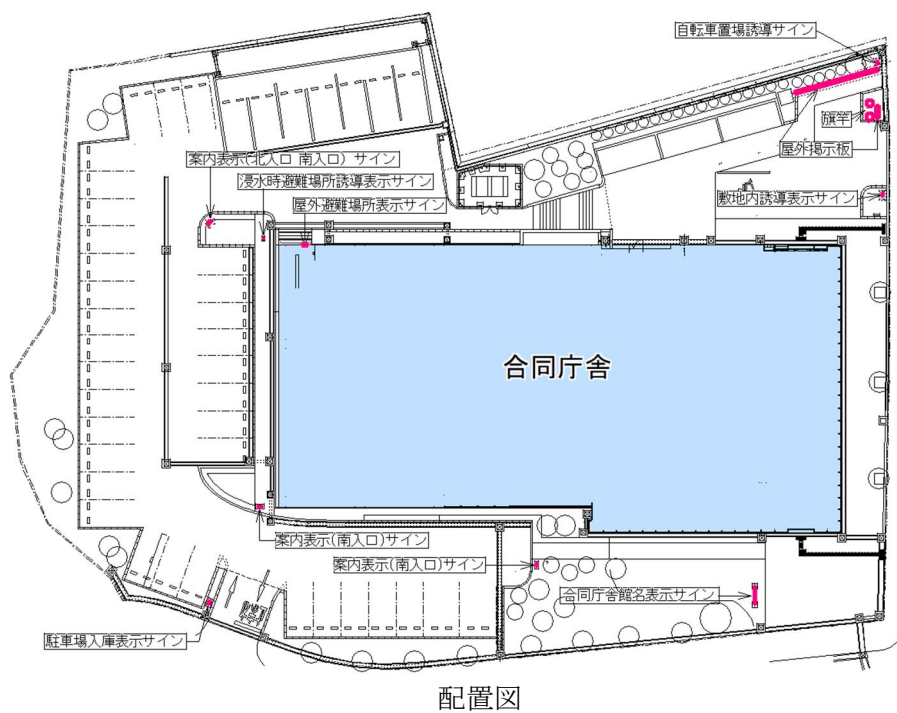
2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 A-67	外構 外構サイン、屋外掲示板等	部門 <input checked="" type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
①管理上の注意事項 <ul style="list-style-type: none"> ・屋外には、施設案内板、掲示板など、来庁者を施設に案内するためのサイン等が配置されています。 ・掲示板のガラス戸は静かに開閉してください。使用後は施錠の確認をしてください。 ・旗の昇降は、ゆっくり行ってください。 		
②定期点検等周期 <input type="checkbox"/> 法定点検等周期 <ul style="list-style-type: none"> ・点検：1回／3年（建基則第5条の2） ・確認：1回／1年（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） <input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期 <ul style="list-style-type: none"> ・第2編第8章8.3.1「敷地」 注. 周期Ⅰ又は周期Ⅱの適用は、第2編第1章1.1.2「点検の周期」（d）を参考に判断してください。		
③点検等の作業項目及び作業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・共通仕様書（令和5年版）の作業項目、作業内容を参照ください。 （第2編第8章8.3.1「敷地」） ※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適用しているか、点検業者等に確認して実施してください。		
④不具合と対応 <ul style="list-style-type: none"> ・傾き、損傷がある場合 → 専門業者に補修を依頼してください。 ・作動不良がある場合 → 専門業者に修理を依頼してください。 ・割れがある場合 → 専門業者に修理を依頼してください。 		
⑤関連図書等 <ul style="list-style-type: none"> ・完成図 ・取扱説明書 		
⑥清掃周期と清掃方法 <ul style="list-style-type: none"> ・適宜（附属品その他引渡書による。） 		

2) 保全の方法（作成例 3-2）

<p>保全対象項目 A-67</p>	<p>外構 外構サイン、屋外掲示板等</p>	<p>部門 ■ 建築 □ 電気 □ 機械</p>
<p>■ 保全対象（写真）</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>館銘板</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>自立サイン</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>旗竿</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>掲示板</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>車止支柱</p> </div> </div>		

■ 保全対象の場所（図面等）



2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 A-68	外構 雨水排水桝、側溝、街きよ	部門 <input checked="" type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
<p>①管理上の注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 雨水桝は、雨水排水管の水の流れを変えたり、合流させたりするものです。 桝、側溝は、定期的に専用金具で開閉し、点検・清掃を行ってください。 (排水管が詰まる原因となります。) 蓋を開けたまま放置するとごみが流れ、詰まる原因になりますので、必ず閉めてください。 (蓋を開けたままでは、通行人が落下する危険もあります。) 		
<p>②定期点検等周期</p> <p><input type="checkbox"/> 法定点検等周期</p> <ul style="list-style-type: none"> 点検：1回／3年（建基則第5条の2） 確認：1回／6か月（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） <p><input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期</p> <ul style="list-style-type: none"> 第2編第8章 8.3.4「排水桝・マンホール・側溝・街きよ」 <p>注．周期Ⅰ又は周期Ⅱの適用は、第2編第1章 1.1.2「点検の周期」(d)を参考に判断してください。</p>		
<p>③点検等の作業項目及び作業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 共通仕様書（令和5年版）の作業項目、作業内容を参照ください。 (第2編第8章 8.3.4「排水桝・マンホール・側溝・街きよ」) <p>※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適用しているか、点検業者等に確認して実施してください。</p>		
<p>④不具合と対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 構内に雨水がたまる場合 <ul style="list-style-type: none"> → 桝や側溝に堆積している土砂、落ち葉などを取り除いてください。それでも改善されない場合は、専門業者に排水管の清掃を依頼してください。 桝、側溝の沈下、損傷がある場合 <ul style="list-style-type: none"> → 専門業者に補修を依頼してください。 		
<p>⑤関連図書等</p> <ul style="list-style-type: none"> 完成図 		
<p>⑥清掃周期と清掃方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 適宜（製造者・専門業者が推奨する清掃を参考に実施してください。) 		

2) 保全の方法 (作成例 3-2)

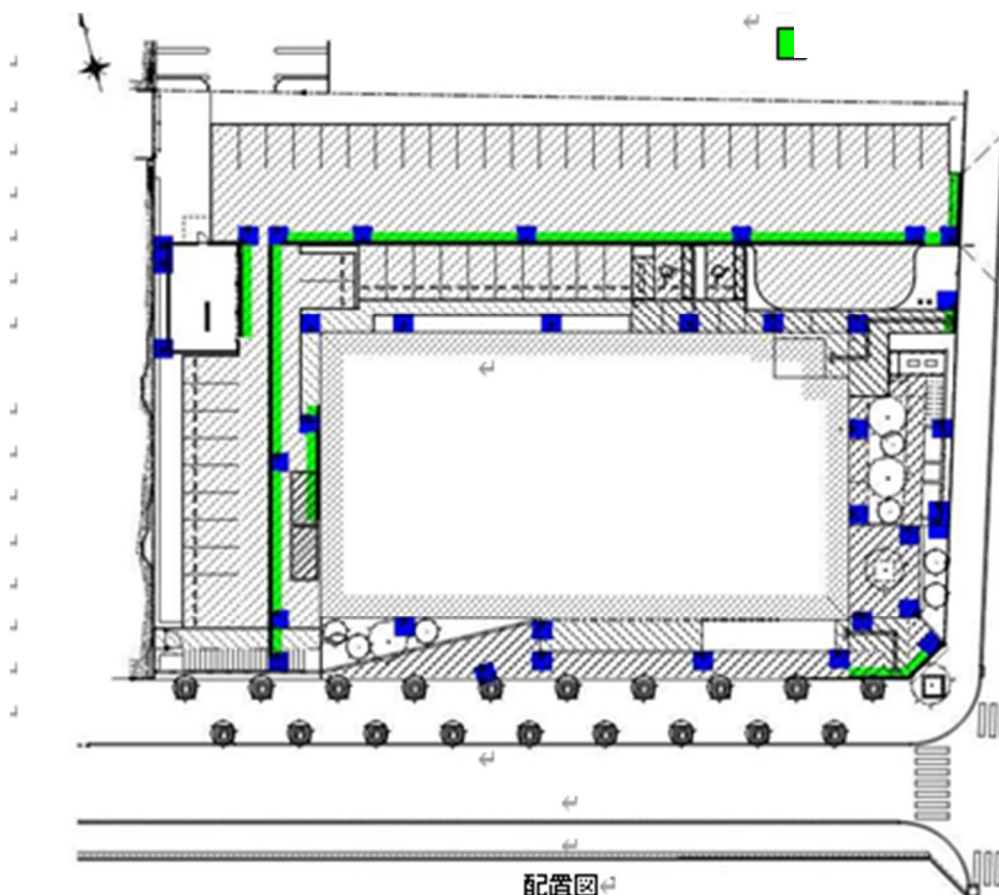
保全対象項目 A-68	外構 雨水排水柵、側溝、街きよ	部門 ■ 建築 □ 電気 □ 機械
----------------	-----------------	----------------------

■ 保全対象 (写真)



■ 保全対象の場所 (図面等)



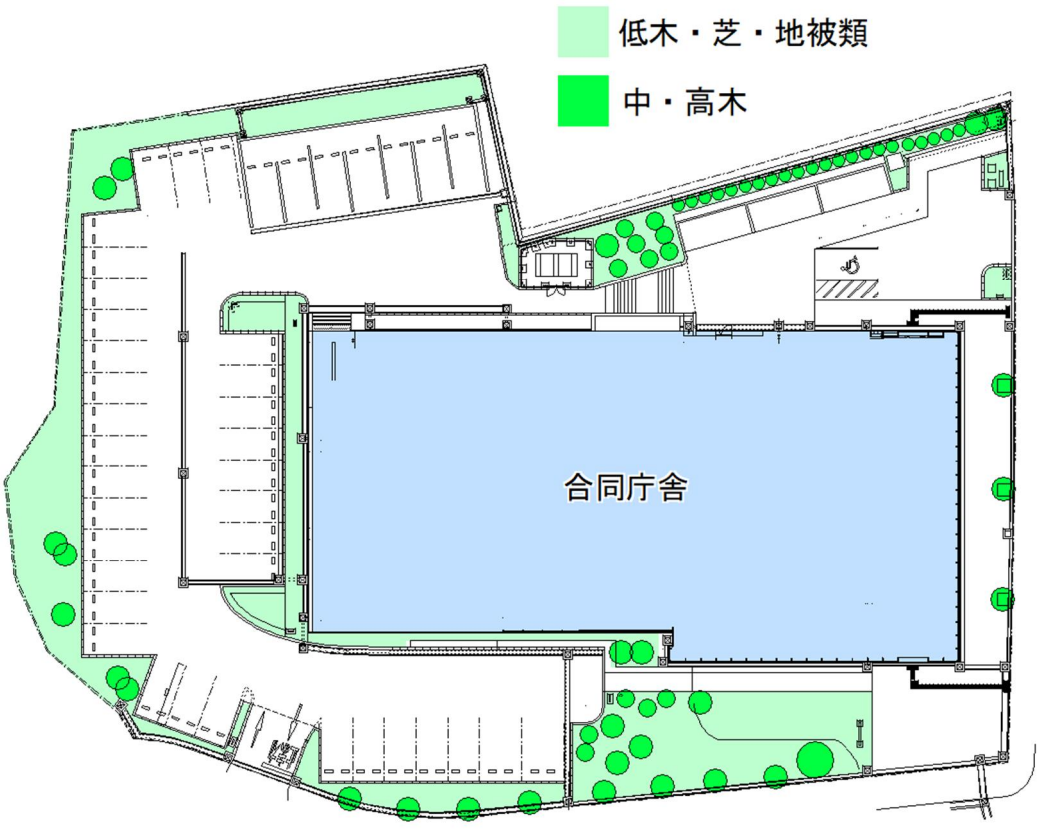
- : 排水柵位置
- : 排水側溝位置



2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 A-69	外構 樹栽	部門 <input checked="" type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
①管理上の注意事項 <ul style="list-style-type: none"> ・植物は生き物ですから、剪定、除草等の細やかな手入れが必要です。 ・葉の変色などは病虫害や肥料不足が原因であることが考えられるので、日々の観察が必要です。 ・散水栓の位置はM-○の屋外衛生設備を参照。 		
②定期点検等周期 <input type="checkbox"/> 法定点検等周期 <ul style="list-style-type: none"> ・点検：なし ・確認：1回／1年（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） <input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期 <ul style="list-style-type: none"> ・第2編第8章8.4.1「植栽・緑地」 		
③点検等の作業項目及び作業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・共通仕様書（令和5年版）の作業項目、作業内容を参照ください。 （第2編第8章8.4.1「植栽・緑地」） ※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適用しているか、点検業者等に確認して実施してください。		
④不具合と対応 <ul style="list-style-type: none"> ・剪定 → 1回／1年 ・施肥 → 1回／1年 ・芝の刈込み → 3回／1年 ※上記回数は目安です。維持・管理は専門業者に依頼することをお勧めします。		
⑤関連図書等 <ul style="list-style-type: none"> ・完成図 		
⑥清掃周期と清掃方法 <ul style="list-style-type: none"> ・適宜（専門業者が推奨する清掃を参考に実施してください。） 		

2) 保全の方法（作成例 3-2）

<p>保全対象項目 A-69</p>	<p>外構 樹栽</p>	<p>部門 ■ 建築 □ 電気 □ 機械</p>
<p>■ 保全対象（写真）</p>		
		
<p>植栽 1</p>		<p>植栽 2</p>
<p>■ 保全対象の場所（図面等）</p>		
		
<p>配置図</p>		

2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 A-70	外部 建築物 自転車置場・駐輪ラック	部門 <input checked="" type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
<p>①管理上の注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐輪ラックは、自転車を限られたスペースへ収容し、整理整頓を兼ね備えた設備となります。指定された場所以外での駐輪がないよう配慮願います。 ・使用方法等は、取扱説明書を参考にしてください。 		
<p>②定期点検等周期</p> <p><input type="checkbox"/>法定点検等周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・点検：なし ・確認：1回／1年（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） <p><input type="checkbox"/>共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取扱説明書等を参考に実施してください。 		
<p>③点検等の作業項目及び作業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取扱説明書等を参考に、製造者や専門業者等への確認により実施してください。 <p>※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適用しているか、点検業者等に確認して実施してください。</p>		
<p>④不具合と対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラックにぐらつきがある場合 <ul style="list-style-type: none"> → 対象のビス・ボルトを締めなおしてください。 ・ラック部材にひずみ、ゆがみがある場合 <ul style="list-style-type: none"> → 製造者に連絡、現調後修理を依頼してください。不具合がある場合は専門業者に調査、補修を依頼してください。 		
<p>⑤関連図書等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設計図書 ・施工図 ・取扱説明書 		
<p>⑥清掃周期と清掃方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適宜（附属品その他引渡書による。） ・適宜（製造者・専門業者が推奨する清掃を参考に実施してください。） 		



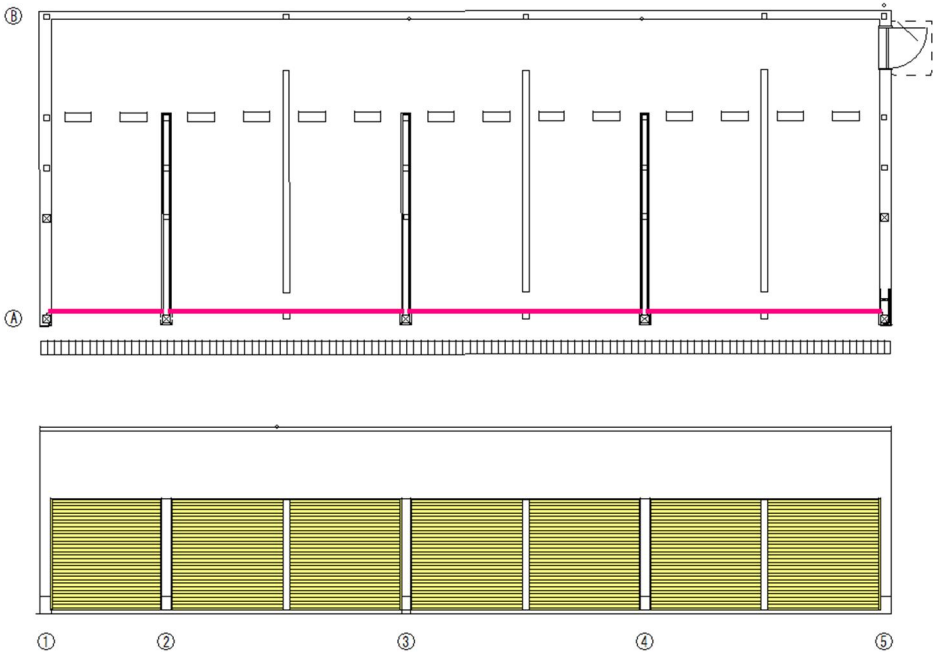

2) 保全の方法 (作成例 3-2)

保全対象項目 A-70	外部 建築物 自転車置場・駐輪ラック	部門 <input checked="" type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
<p>■ 保全対象 (写真)</p> <div style="text-align: center;">  <p>駐輪ラック</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>駐輪場</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>駐輪ラック</p> </div> </div>		

2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 A-71	外部建築物 車庫（軽量シャッター）	部門 <input checked="" type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
①管理上の注意事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 車庫の外部建具には軽量シャッターを設置しています。 ・ 開閉時は、取手、引手を持つようにしてください。開閉を力強く行うことも故障の原因になることがあります。 		
②定期点検等周期 <input type="checkbox"/> 法定点検等周期 <ul style="list-style-type: none"> ・ 点検：1回／3年（建基則第5条の2） ・ 確認：1回／1年（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） <input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期 <ul style="list-style-type: none"> ・ 第2編第2章2.2.2「外壁」、2.2.8「外部建具」 注．周期Ⅰ又は周期Ⅱの適用は、第2編第1章1.1.2「点検の周期」（d）を参考に判断してください。		
③点検等の作業項目及び作業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ 共通仕様書（令和5年版）の作業項目、作業内容を参照ください。 （第2編第2章2.2.2「外壁」、2.2.8「外部建具」） ※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適用しているか、点検業者等に確認して実施してください。		
④不具合と対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 損傷、さび、がたつきがある場合 → 専門業者に調査、補修を依頼してください。 ・ 開閉不良、施錠不良がある場合 → 専門業者に補修を依頼してください。地震時に起こった開閉不良などは、躯体自体の変形が原因になることも考えられます。専門業者に補修を依頼してください。 ・ シーリング材の劣化 → シーリング材の打ち替えを専門業者に依頼してください。 		
⑤関連図書等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 完成図 		
⑥清掃周期と清掃方法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 適宜（製造者・専門業者が推奨する清掃を参考に実施してください。） 		

2) 保全の方法（作成例 3-2）

<p>保全対象項目 A-71</p>	<p>外部建築物 車庫（軽量シャッター）</p>	<p>部門 <input checked="" type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械</p>
<p>■ 保全対象（写真）</p>		
		
<p>車庫（軽量シャッター）</p>		<p>車庫（軽量シャッター）近景</p>
<p>■ 保全対象の場所（図面等）</p>		
		
<p>南立面図</p>		
<p> : 軽量シャッター</p>		